

TRAXXAS

取扱説明書

RUSTLER

VXL

BRUSHLESS

モデル 37076-74

STAMPEDE

VXL

BRUSHLESS

モデル 36076-74

BANDIT

VXL

BRUSHLESS

モデル 24076-74

Velineon

エクストリームブラシレスパワーシステム

序章

3	あなたの前に 続行
4	安全性 予防
7	ツール、消耗品 そして必須 装置
8	8の解剖学 ラスラー VXL
9	9の解剖学 スタンビード VXL
10	10の解剖学 ザバディット VXL
11	11クイックスタート: スピードを上げる
12	12トラックサス TQiランジ そしてベリオン パワーシステム
20	20調整する 電子速度 コントロール
22	22モデルの運転
24	24基本チューニング 調整
26	26メンテナンス あなたのモデル
27	27高度なチューニング 調整
28	28 TQiアドバンスト チューニングガイド

新しい Velineon® ブラシレス パワー システムを搭載した Traxxas 電動モデルをお買い上げいただきありがとうございます。このマニュアルでは、Rustler® VXL スタジアム レーストラック、Bandit™ VXL バギー、Stampede® VXL モンスタートラックについて説明します。Velineon パワーシステムでは、ブラシレス モーター テクノロジーが提供する最高のものを体験できます。驚異的な速度、効率的な操作、長い実行時間、およびメンテナンスの手間がかからない操作は、利点のほんの一部です。どのモデルをお選びいただいても、高速パフォーマンスと耐久性に優れた長持ちする製品をご提供できるものと確信しています。

このマニュアルには、モデルを末永くお楽しみいただくために、操作とメンテナンスに必要な手順が記載されています。私たちは、市場で最高のパフォーマンスを誇るモデルを所有しており、可能な限り最高レベルの工場サポートを提供することを目的とした専門家チームによってサポートされているという自信を持っていただきたいと考えています。Traxxas モデルは、自分のモデルだけでなく、そのモデルを支える企業も含めて、総合的なパフォーマンスと満足感を体験することを目的としています。

新しいモデルを公道に出すことに興奮しているのはわかりますが、時間をかけてオーナーズ マニュアルをよく読むことが非常に重要です。このマニュアルには、Traxxas のエンジニアがモデルに設計した潜在的なパフォーマンスを引き出すために必要なセットアップと操作手順がすべて含まれています。また、このマニュアルおよびモデルに貼付されているラベルやタグに記載されている注意事項と警告を必ず読み、に従ってください。彼らは、モデルを安全に操作し、モデルの寿命とパフォーマンスを最大限に引き出す方法を教育するために存在します。

FCC 準拠このデバ

イスには、FCC 規則のパート 15 に記載されているクラス B デジタル デバイスの制限に準拠するモジュールが含まれています。動作には次の 2 つの条件が適用されます。(1) このデバイスは有害な干渉を引き起こしてはならず、(2) このデバイスは望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れる必要があります。

クラス B デジタル デバイスの制限は、住宅環境における有害な干渉に対して適切な保護を提供するように設計されています。この製品は無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があるため、指示に従って操作しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ユーザーは、コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行うと、機器を操作するユーザーの権限が無効になる可能性があることに注意してください。

カナダ、カナダ産業省 (IC)

このクラス B デジタル機器は、カナダの ICES-003 および RSS-210 に準拠しています。このデバイスは、カナダ産業省ライセンス免除 RSS 標準に準拠しています。動作には、次の 2 つの条件が適用されます。このデバイスは干渉を引き起こしてはいけなく、およびこのデバイスは、デバイスの望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、あらゆる干渉を受け入れる必要があります。

無線周波数 (RF) 暴露に関する声明この機器は、FCC

およびカナダ産業省が管理されていない環境に対して定めた無線周波数暴露制限に準拠しています。この機器は、ラジエーターと人体または周囲の人の間に少なくとも 20 センチメートルの距離を置いて設置および操作する必要があります。他のアンテナや送信機と同じ場所に設置したり、併用したりしてはなりません。

動作周波数: 2414~2453 MHz 最大無線周波電力: 最大ピーク電力 9.7 dBm

Traxxas サポート

Traxxas サポートはあらゆる段階でお客様とともにあります。お問い合わせ方法とサポート オプションについては、次のページを参照してください。



クイック スタ

ートこのマニュアルは、モデルをできるだけ短時間でち上げて実行するために必要な手順を概説するクイック スタート パスを備えて設計されています。経験豊富な RC 愛好家であれば、すぐに役つことがわかるでしょう。重要な安全性、メンテナンス、調整手順については、マニュアルの残りの部分を必ず読んでください。始めに 11 ページを開いてください。



経験豊富な RC 愛好家であっても、このマニュアルを読んで手順に従うことが重要です。

Traxxas をご利用いただきまして誠にありがとうございます。お客様に最高の満足をご提供できるよう、日々努力しております。新しいモデルをぜひお楽しみください。

先に進む前に

モデルへの重大な損傷を防ぐために、本書および付属資料のすべての指示を注意深く読んで従ってください。これらの指示に従わない場合は、虐待および/またはネグレクトとみなされます。

モデルを実行する前に、このマニュアル全体に目を通し、モデルを注意深く調べてください。何らかの理由で、それが望んでいたものではないと判断した場合は、それ以上続行しないでください。ホビー販売店では、走行後の返品・交換は一切お受けできません。

警告、役立つヒント、および相互参照このマニュアル全体を通じて、以下のアイコンで示される警告と役立つヒントが示されています。必ずお読みください。



個人の安全、またはモデルや関連コンポーネントへの損傷の回避に関する重要な警告です。



物事をより簡単に、より楽しくするための Traxxas からの特別なアドバイス。



関連トピックのあるページを参照します。

サポート

モデルまたはその操作についてご質問がある場合は、Traxxas テクニカル サポート ラインにフリーダイヤルでお電話ください。
1-888-トラクサス (1-888-872-9927)*

テクニカル サポートは、中央時間で年中無休、午前 8 時 30 分から午後 9 時までご利用いただけます。技術サポートは Traxxas.com でもご利用いただけます。

カスタマー サポートに電子メールで質問を送信することもできます (support@Traxxas.com)。Traxxas.com のオンライン コミュニティで何千人もの登録メンバーに加わってください。

Traxxas は、Traxxas サービスのあらゆるニーズに対応するフルサービスのオンライン修理施設を提供しています。メンテナンスおよび交換部品は、Traxxas から電話またはオンライン (Traxxas.com) で直接購入できます。最寄りのディーラーから交換部品を購入すると、時間と配送料、手数料を節約できます。

製品サポートが必要な場合はお気軽にお問い合わせください。
新しいモデルをぜひご満足ください。

トラクサス

6250 トラクサス ウェイ
マッキニー、テキサス州 75070
電話: 972-549-3000
フリーダイヤル 1-888-TRAXXAS

インターネット

ット Traxxas.com
電子メール: support@Traxxas.com

全コンテンツ ©2022 Traxxas.

Traxxas, Ready-To-Race, Ready To-Win, Rustler, Bandit, Stampede, Velineon、および ProGraphix は、Traxxas の商標または登録商標です。その他のブランド名およびマークはそれぞれの所有者の財産であり、識別の目的でのみ使用されます。

Traxxas の書面による明示的な許可がない限り、このマニュアルのいかなる部分も印刷メディアまたは電子メディアで複製または配布することはできません。仕様は予告なく変更される場合があります。

モデルの登録顧客としてより良いサービスを提供するために、オンラインで購入後 10 日以内に Traxxas.com/register で製品を登録してください。

[Traxxas.com/register](https://www.traxxas.com/register)

*フリーダイヤルサポートは米国居住者のみが利用できます。

安全上のご注意



このマニュアルに記載されているすべての指示と注意事項は厳密に守ってください。安全を確保するために従ったモデルの操作。



このモデルは、責任ある知識のある大人の監督なしに 14 歳未満の子供が使用することを目的としていません。

ギアとバッテリーの選択(右の LiPo バッテリーを参照)は、モデルのスキルレベルに影響します。以下のチャートを参照してください。



ギアリング: 純正ピニオン バッテリー: 6 セル
NiMH 電圧*: 7.2V mAh: 3000+mAh



ギア: オプション。ピニオン バッテリー: 7 セル
NiMH 電圧*: 8.4V mAh: 4000+mAh



ギア: オプション。ギア バッテリー: 3S 20C LiPo
電圧*: 11.1V mAh: 4000+ mAh



ギア: オプション。ギア バッテリー: 3S 20C LiPo
電圧*: 11.1V mAh: 8000 mAh

※公称値

詳細については、27 ページのギア表を参照してください。



Traxxas は全員、お客様に新しいモデルを安全に楽しんでいただきたいと思います。賢明かつ注意してモデルを操作すると、あなたとあなたの周りの人々にとって、刺激的で安全で楽しいものになります。安全かつ責任ある方法でモデルを操作しないと、物的損害や重傷を負う可能性があります。安全な操作を確保するには、このマニュアルに記載されている注意事項に厳密に従ってください。あなただけが、指示に従い、予防措置が遵守されていることを確認する必要があります。

留意すべき重要な点 このモデルは、歩行者や車両の交通と衝突したり妨害される可能性がある公道や混雑した場所での使用を目的としていません。

- いかなる場合でも、人混みの中でモデルを操作しないでください。あなたのモデルは非常に速いので、誰かと衝突すると怪我をする可能性があります。
- モデルは無線で制御されているため、制御できない多くの発生源からの無線干渉の影響を受けます。電波干渉によりラジコン制御が一時的に失われる可能性があるため、衝突を防ぐためにモデルの周囲の全方向に常に安全マージンを確保してください。• 使用中、モーター、バッテリー、スピードコントローラーは高温になる場合があります。火傷に注意してください。• 夜間、またはモデルへの視線が妨げられたり、何らかの形で損なわれる可能性があるときは、モデルを操作しないでください。• 最も重要なことは、常に良識を持って行動することです。

スピード コントロー

ルお使いのモデルの電子スピード コントロールは、大電流を供給できる非常に強力な電子デバイスです。スピードコントロールやその他のコンポーネントへの損傷を防ぐために、次の注意事項に厳密に従ってください。• バッテリーを外す: 使用しないときは、必ずバッテリーをスピードコントロールから外してください。• ワイヤを絶縁する: 短絡を防ぐために、露出した配線を常に熱収縮チューブで絶縁してください。• 最初送信機をオンにする: 暴走や不安定なパフォーマンスを防ぐために、速度制御をオンにする前に、まず送信機のスイッチをオンにします。

• 火傷しないように: ESC とモーターは使用中非常に熱くなる可能性があるため、冷めるまで触れないよう注意してください。冷却のために適切な空気を供給してください。

• 工場出荷時に取り付けられたコネクタを使用する: バッテリーとモーターのコネクタは変更しないでください。配線を誤ると火災やESCの損傷の原因となることがあります。改造されたスピードコントロールは、サービスのために返却される際に再配線料金がかかる場合がありますことに注意してください。

• 逆電圧なし: ESC は逆極性電圧に対して保護されていません。

• ショットキー ダイオードなし: 外部ショットキー ダイオードは逆転速度制御と互換性がありません。Traxxas スピード コントロールでショットキー ダイオードを使用すると、ESC が損傷し、30 日間の保証が無効になります。• 仕様表に記載されている速度制御の最小制限および最大制限を常に遵守してください。ESC が 2 つのバッテリーで動作する場合は、バッテリーの種類と容量を混合しないでください。両方のバッテリーに同じ電圧と容量を使用してください。適合しないバッテリーパックを使用すると、バッテリーや電子速度制御装置が損傷する可能性があります。

Traxxas パワーセル NiMH バッテリーのリサイクルTraxxas では、耐用年数が終了したパワーセル NiMH バッテリーをリサイクルすることを強くお勧めします。**バッテリーをゴミ箱に捨てないでください。**すべての Power Cell NiMH バッテリーパックには、リサイクル可能であることを示す RBRC (Rechargeable Battery Recycling Corporation) アイコンが表示されます。近くのリサイクル センターを見つけるには、地元のホビー販売店に問い合わせるか、www.call2recycle.org にアクセスしてください。



警告 ! 注意 ! 危険 !

火災の危険 !

お使いのモデルはLiPoバッテリーを使用できます。バッテリーの充電と放電は、指示に従って行わないと、火災、爆発、重傷、物的損害を引き起こす可能性があります。使用前に、製造元のすべての指示、警告、注意事項を読んで従ってください。さらに、リチウムポリマー (LiPo) バッテリーは、指示に従って適切に取り扱われない場合、火災の重大な危険性があり、長寿命と安全な操作のために特別な注意と取り扱い手順が必要です。LiPo バッテリーは、LiPo バッテリーの使用に伴うリスクについて理解している上級ユーザーのみを対象としています。Traxxas は、知識と責任のある大人の監督なしに、18 歳未満の人がLiPo バッテリー パックを使用または取り扱うことを推奨しません。

使用済みの電池は指示に従って廃棄してください。

リチウムポリマー (LiPo) バッテリーのユーザーに対する重要な警告:

- お使いのモデルは LiPo バッテリーを使用できます。LiPo バッテリーには、超えてはいけな最小安全放電電圧閾値。電子スピードコントロールには、LiPo バッテリーが最小電圧 (放電) しきい値に達したときにドライバーに警告する低電圧検出機能が組み込まれています。バッテリーパックが安全な最小しきい値を下回って放電しないように、直ちに停止するのはドライバーの責任です。• 低電圧検出は、LiPo バッテリーを安全に使用するための包括的な計画の一部にすぎません。LiPo バッテリーを安全かつ適切に充電、使用、保管するには、すべての指示に従うことが重要です。LiPo バッテリーの使用方法を必ず理解してください。LiPo バッテリーの使用方法についてご質問がある場合は、お近くのホビー販売店にご相談いただくか、バッテリーのメーカーにお問い合わせください。すべてのバッテリーは耐用年数が終了したらリサイクルする必要がありますことに注意してください。• Traxxas iD バッテリーの充電には、Traxxas iD 充電器のみを使用してください。

LiPo バッテリーの充電には、バランス アダプター ポートを備えたリチウム ポリマー (LiPo) バランス充電器のみを使用してください。LiPo バッテリーの充電には、NiMH または NiCad タイプの充電器や充電モードを決して使用しないでください。NiMH 専用充電器で LiPo バッテリーを充電しないでください。NiMH または NiCad 充電器または充電モードを使用すると、LiPo バッテリーが損傷し、火災、人身傷害、および/または物的損害を引き起こす可能性があります。• LiPo バッテリーパックを直列または並列で充電しないでください。パックを直列または並列で充電すると、充電器セルの認識が不適切になり、充電速度が不適切になり、過充電、セルの不均衡、セルの損傷、火災が発生する可能性があります。



- 充電する前に、必ず LiPo バッテリーを注意深く検査してください。リード線やコネクタの緩み、ワイヤ絶縁の損傷、セルのパッケージの損傷、衝撃による損傷、液体の漏れ、膨張 (内部損傷の兆候)、セルの変形、ラベルの紛失、その他の損傷や異常がないかどうかを確認します。これらの状態のいずれかが観察された場合は、バッテリー パックを充電または使用しないでください。バッテリーを適切かつ安全に廃棄するには、バッテリーに同梱されている廃棄手順に従ってください。• LiPo バッテリーを、他のバッテリーや、他の LiPo を含むあらゆるタイプのバッテリー パックと一緒に、またはその周囲に保管したり充電したりしないでください。• バッテリーパックは涼しく乾燥した場所に保管および輸送してください。

直射日光の当たる場所に保管しないでください。車のトランク内など、保管温度が 140°F または 60°C を超えないようにしてください。セルが損傷し、火災の危険が生じる可能性があります。

- LiPo バッテリーやセルを分解しないでください。
- バラしたセルから独自の LiPo バッテリーパックを組み立てようとししないでください。

すべてのタイプのバッテリーの充電および取り扱い上の注意事項: • 充電する前に、充電器の設定が充電するバッテリーのタイプ (化学的性質)、仕様、および構成に正確に一致していることを必ず確認してください。メーカー推奨の最大充電速度を超えないようにしてください。

- 非充電式バッテリー (爆発の危険)、内部充電回路または保護回路を備えたバッテリー、メーカーの元の構成から変更されたバッテリー、またはラベルが紛失または読めないバッテリーは充電しないでください。バッテリーの種類と仕様を確認します。Traxxas iD バッテリーを充電するには、常に Traxxas iD 充電器を使用してください。Traxxas iD バッテリーの充電には、Traxxas 以外の充電器を使用しないでください。推奨されませんが、Traxxas 以外の充電器またはバッテリーを使用する場合は、製造元の警告と指示をすべて読んで従ってください。• メーカー推奨の最大値を超えないようにしてください。

充電率。

- 露出したバッテリーの接点やワイヤーが互いに接触しないようにしてください。バッテリーがショートして火災の危険性があります。
- 充電または放電中は、必ずバッテリー (すべてのタイプのバッテリー) を難燃性/耐火性の容器に入れ、コンクリートなどの不燃性の表面に置いてください。

(前ページからの続きです)

- 自動車の中でバッテリーを充電しないでください。自動車の運転中にバッテリーを充電しないでください。
- 木、布、カーペット、その他の可燃性物質の上でバッテリーを充電しないでください。
- バッテリーは常に換気の良い場所で充電してください。
- 可燃物や可燃物を床から取り除く。
充電エリア。

- 充電中、放電中、またはバッテリーが接続されて充電器がオンになっている間は、充電器とバッテリーから目を離さないでください。故障の兆候がある場合、または緊急の場合は、充電器を電源から抜き、バッテリーを充電器から外してください。• 雑然とした空間で充電器を操作したり、充電器やバッテリーの上に物を置かないでください。• バッテリーまたはバッテリーセルが何らかの形で

損傷した場合は、バッテリーを充電、放電、または使用しないでください。• 火災に備えてクラス D 消火器を近くに置いてくださ

い。• バッテリーを分解、粉砕、ショートさせたり、火災やその他の発火源にさらしたりしないでください。有毒物質が放出される可

能性があります。目や皮膚に付着した場合は、水で洗い流してください。

- 充電プロセス中にバッテリーが触れると熱くなった場合 (温度が 110°F / 43°C 以上)、直ちにバッテリーを充電器から取り外し、充電を中止してください。

- 実行の合間に (充電前に) バッテリーパックが冷めるまで待ちます。• 使用

しないときは必ず充電器のプラグを抜き、バッテリーも外してください。

- モデルを使用しないときや、保管または輸送するときは、必ずバッテリーのプラグを電子速度制御装置から抜いてください。

- 充電器を分解しないでください。• 充

電する前に、モデルまたはデバイスからバッテリーを取り外してください。• 充電器を水や湿気にさらさないでください。• バッテリーパ

ックは常に子供やペットの手の届かない安全な場所に保管してください。お子様がバッテリーを充電したり扱ったりするときは、常に大人の監督が必要です。• ニッケル水素 (NiMH) バッ

テリーはリサイクルするか、適切に廃棄する必要があります。• 常に慎重に作業を進め、良識を

持って作業を行ってください。
回。

工具、消耗品、および必要な機器

モデルには、一連の特殊な測定ツールが付属しています。モデルを操作および保守するには、ホビー ディーラーから入手可能な他のアイテムを購入する必要があります。

付属の工具と機器



2.5mm 「L」レンチ



2.0mm 「L」レンチ



1.5mm 「L」レンチ



ターンバックルレンチ



Uジョイントレンチ



4方向レンチ



オプションのピニオン
ギア27 ページを参照



各種プリロードスペーサーおよびショックピストン
(パーツツリー上) 24 ページを参照



ボディクリップ



フォームバッテリースペーサーブロック

必要な機器 (別売りされている)



Traxxas 高電流コネクタ* 付きの 6 セル
または 7 セル NiMH バッテ
リ パック、または 2 秒 LiPo バッテリー パック



充電器*



単3形アルカリ電
池4本

Traxxas は、より安全な充電、最大限のバッテリー寿命、パフォーマンスを実現するために、純正の Traxxas iD® バッテリーと充電器を推奨します。

*バッテリーと充電器のスタイルは変更される可能性があり、画像と異なる場合があります。 †ギアの選択はモデルによって異なります



電池の詳細については、15 ページの「適切な電池の使用」を参照してください。

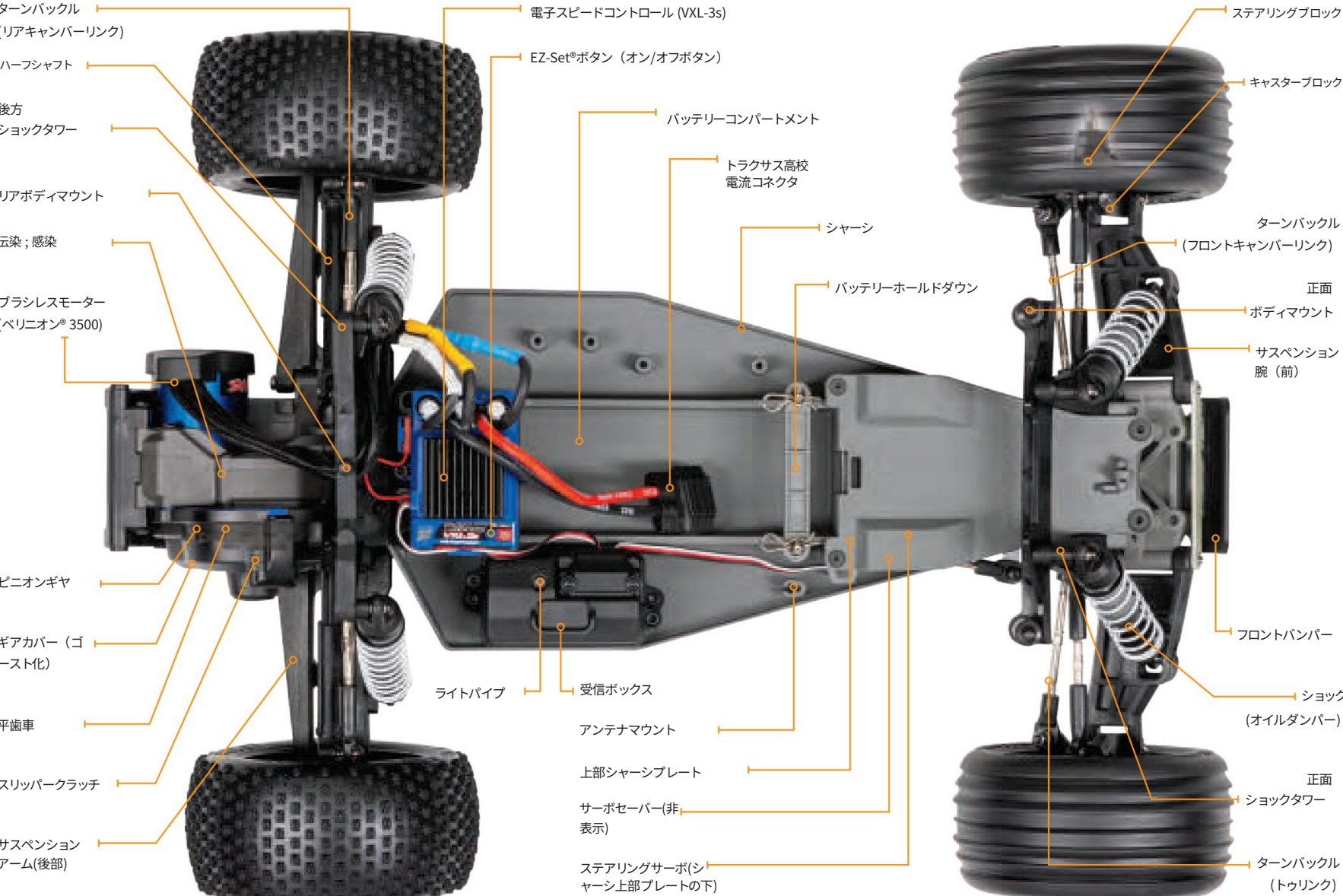


推奨装備

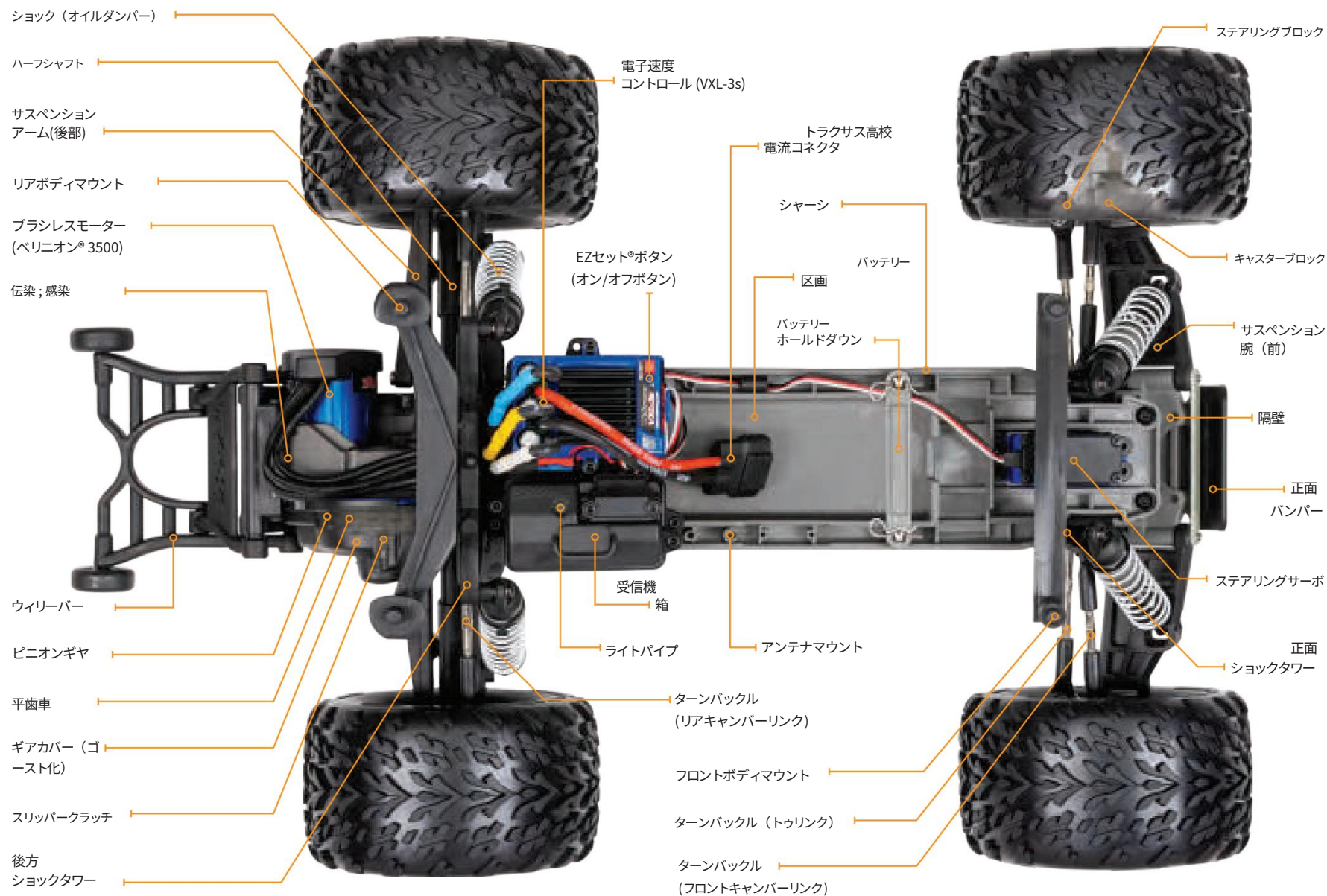
これらのアイテムはモデルの操作には必須ではありませんが、RC ツールボックスに含めることをお勧めします。
• 安全メガネ • Traxxas ウルトラ プレミアム タイヤ

接着剤、部品番号 6468 (CA 接着剤) • ホビーナイフ • サイドカッターおよび/またはラジオペンチ • プラスドライバー • はんだごて

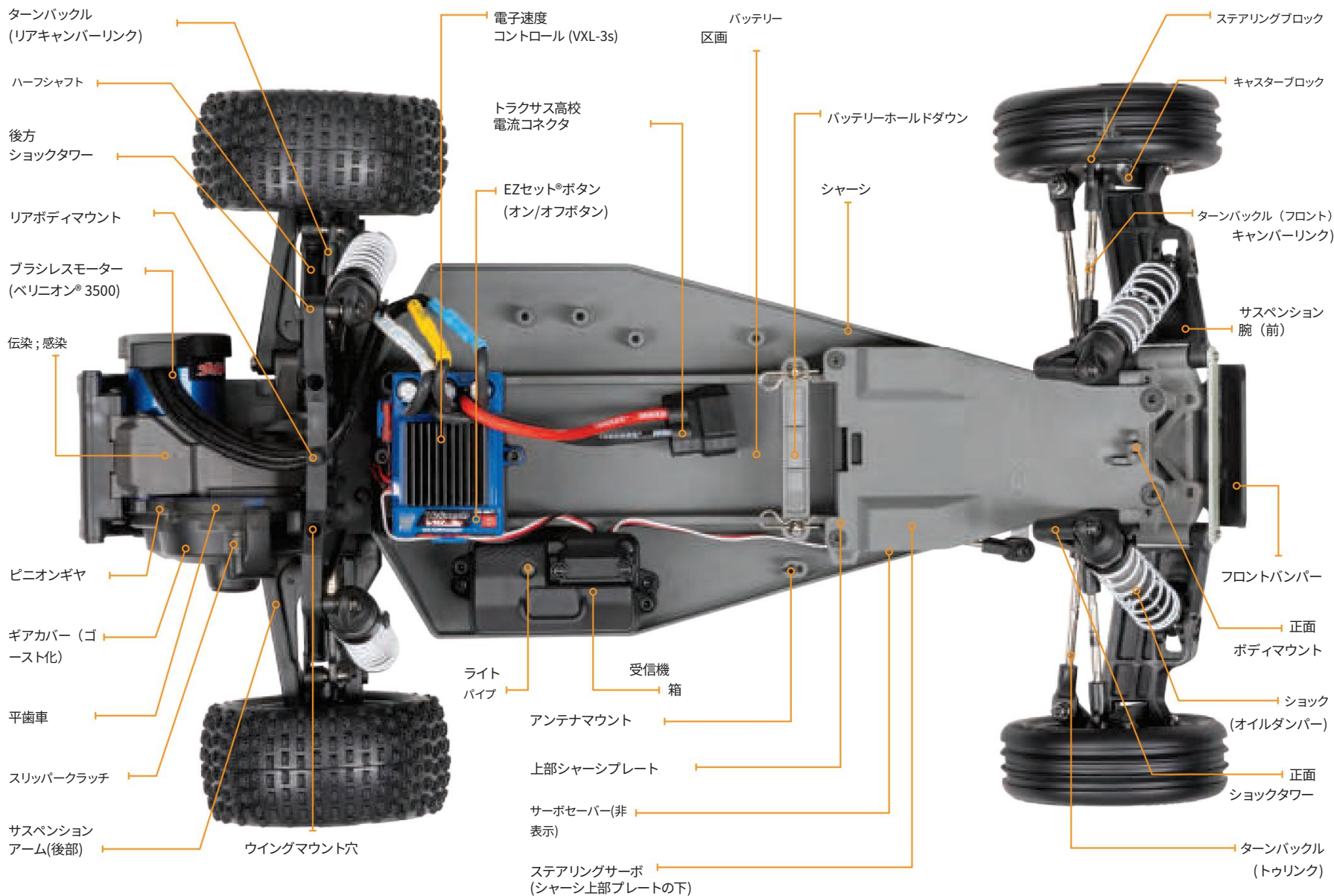
ラスラー VXL の構造



スタンビード VXL の解剖学



バンディット VXL の解剖学



クイック スタート: すぐに始める



次のガイドは、モデルを実行する手順の概要です。クイック スタート ページの下部にあるクイック スタート ログを探してください。



1. 4-6 ページの安全上の注意事項をお読みください。

自分自身の安全のために、不注意や誤用が人身傷害につながる可能性があることを理解してください。



6. サーボ動作確認 • 18 ページ参照

ステアリングサーボが正しく動作していることを確認してください。



2. バッテリーパックを充電する • 15 ページを参照

お使いのモデルにはバッテリー パックと互換性のあるバッテリー充電器 (別売り) が必要です。LiPo バッテリーの充電には、NiMH または NiCad 充電器を決して使用しないでください。



7. 無線システムの範囲テスト • 18 ページを参照

この手順に従って、無線システムが離れた場所でも適切に動作し、外部ソースからの干渉がないことを確認してください。



3. 送信機に電池を入れる • 15 ページを参照

送信機には単3形アルカリ電池4本 (別売り) が必要です。



8. モデルの詳細については、12 ページを参照してください。

必要に応じて他のデカールを貼り付けます。



4. モデルにバッテリー パックを取り付けます。 • 16 ページを参照してください。

お使いのモデルには、完全に充電されたバッテリー パック (別売り) が必要です。



9. モデルを運転する • 22 ページを参照してください。

い。モデルの運転に関するヒントと調整。



5. 無線システムの電源を入れる • 17 ページを参照送信機の

電源を最初に入れ、最後に切る習慣を付けてください。



10. モデルのメンテナンス • 26 ページを参照

モデルのパフォーマンスを維持し、優れた実行状態を維持するには、次の重要な手順に従ってください。



クイック スタート ガイドは、このマニュアルに記載されている完全な操作手順に代わるものではありません。

の適切な使用とメンテナンスに関する完全な手順については、このマニュアル全体をお読みください。

あなたのモデル。

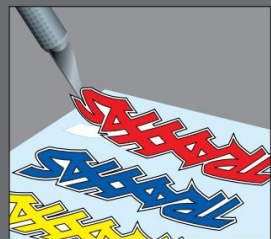
クイック スタート ページの下部にあるクイック スタート ログを探してください。



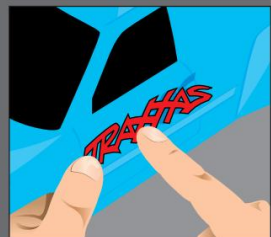


デカールの貼り付けモデル

モデルの主要なデカールは工場に貼り付けられています。デカールは粘着性のある透明なマイラーに印刷されており、簡単に剥がせるようにダイカットされています。ホビーナイフを使用してデカールの角を持ち上げ、台紙から持ち上げます。



デカールを貼り付けるには、一方の端を下に置き、もう一方の端を上にして、デカールを指で徐々に滑らかにします。こうすることで気泡の発生を防ぎます。デカールの両端を下にして平らにしようとする、エアポケットができてしまいます。一般的なデカールの配置については、箱の写真をご覧ください。



はじめにお使いのモデル

には、Traxxas Link™モデル メモリを備えた最新の Traxxas TQi 2.4GHz 送信機が含まれています。送信機の使いやすいデザインは、新しい RC 愛好家にすぐに運転の楽しさを提供するだけでなく、上級ユーザー、またはモデルのパフォーマンスを実験したい人にプロレベルのチューニング機能を完全に提供します。ステアリングとスロットルチャンネルには、調整可能なエクスポネンシャル、エンドポイント、サブトリムが備わっています。ステアリングとブレーキのデュアルレートも利用可能です。次のレベルの機能の多くは、マルチファンクションノブで制御され、さまざまな機能を制御するようにプログラムできます。このマニュアルに含まれる詳細な手順 (28 ページ) とメニュー ツリ (31 ページ) は、新しい TQi 無線システムの高度な機能を理解し、操作するのに役立ちます。追加情報とハウツービデオについては、Traxxas.com にアクセスしてください。

無線および電力システムの用語

これらの無線および電力システムの用語についてよく理解してください。これらはこのマニュアル全体で使用されます。

新しい無線システムの高度な用語と機能の詳細な説明は、28 ページから始まります。

2.4GHz スペクトラム拡散 - このモデルには最新の RC テクノロジーが搭載されています。周波数クリスタルを必要とし、周波数の競合が発生しやすい AM および FM システムとは異なり、TQi システムは空いている周波数を自動的に選択してロックし、干渉や「グリッチ」に対する優れた耐性を提供します。

BEC (バッテリーエリミネーター回路) - BEC は次のいずれかにあります。受信機または ESC 内にあります。この回路により、受信機とサーボが可能になります。

電動モデルではメインバッテリーパックから電力を供給します。これにより、無線機器に電力を供給するために単三電池 4 本を別途持ち運ぶ必要がなくなります。

ブラシレス モーター - AD/C ブラシレス モーターは、ブラシ付きモーターの従来の整流子とブラシの配置を、電磁巻線に順番に通電して回転を提供するインテリジェントな電子機器に置き換えます。ブラシ付きモーターとは反対に、ブラシレス モーターはモーター カンの周囲に巻線 (コイル) を持ち、回転するローター シャフトに磁石が取り付けられています。

コギング - コギングは、ブラシレス モーターに関連する場合があります。通常、停止状態から加速するときに発生するわずかなふたつきが発生します。電子速度制御装置とモーターからの信号により、非常に短期間に発生します。

お互いに同期します。VXL-3s 電子速度制御は、コギングを実質的に排除するように最適化されています。

電流 - 電流は、電流を流れる電力の尺度です。

電子機器、通常はアンペアで測定されます。ワイヤーを庭のホースと考えると、電流はホースを流れる水の量の尺度になります。

ESC (電子速度制御) - 電子速度制御は、モデル内の電子モーター制御です。VXL-3s 電子

速度制御は高度な回路を使用して、正確なデジタル比例スロットル制御を提供します。電子速度制御は機械式速度制御よりも効率的に電力を使用するため、バッテリーがより長く動作します。電子速度制御装置には、バッテリーの充電が切れたときにステアリングとスロットル制御が失われるのを防ぐ回路も備わっています。

周波数帯域 - 送信機がモデルに信号を送信するために使用する無線周波数。このモデルは、2.4GHz 直接拡散スペクトラムで動作します。

kV 定格 - ブラシレス モーターは、多くの場合、kV 値によって定格されます。

kV 定格は、1 ボルトを印加した場合の無負荷モーターの rpm に相当します。モーター内のワイヤーの巻き数が減少すると、kV は増加します。

kV が増加すると、電子機器を流れる電流も増加します。Velineon 3500 モーターは、軽量 1/10 スケール モデルで最高の速度と効率を得られるように最適化された 3500 kV モーターです。

LiPo - リチウムポリマーの略称。充電式リポ

バッテリーパックは、コンパクトなサイズで非常に高いエネルギー密度と電流処理を可能にする特殊な化学反応で知られています。これらは高性能バッテリーなので、特別な注意と取り扱いが必要です。上級ユーザーのみを対象としています。

mAh - ミリアンペア時間の略語。バッテリーパックの容量の目安。数値が大きいほど、次の充電までのバッテリーの持続時間が長くなります。

ニュートラル位置 - 送信機のコントロールがニュートラル設定にあるときにサーボが求める位置。

NiCad - ニッケルカドミウムの略語。オリジナル

充電式ホビー パックのニカド バッテリーは、非常に高い電流処理、大容量を備え、最大 1000 回の充電サイクルに耐えることができます。

「メモリー」効果が発生して実行時間が短縮される可能性を減らすには、適切な充電手順が必要です。

NiMH - ニッケル水素の略称・充電式

NiMH バッテリーは高電流を処理でき、「メモリー」効果に対する耐性があるかに優れています。NiMH バッテリーは一般に、NiCad バッテリーよりも高い容量を実現します。最大 500 回の充電サイクルが持続します。最適なパフォーマンスを得るには、NiMH バッテリー用に設計されたピーク充電器が必要です。

受信機- 送信機から信号を受信し、サーボに中継するモデル内の無線ユニット。

抵抗- 電気的な意味では、抵抗は、物体が電流の流れにどのように抵抗するか、または妨げるかの尺度です。

流れが狭まると、エネルギーが熱に変換され、失われます。

Velineon 電源システムは、電気抵抗とその結果生じる電力を奪う熱を低減するように最適化されています。

ローター- ローターはブラシレスモーターの主轴です。

ブラシレスモーターでは、ローターに磁石が取り付けられ、モーターハウジングに電磁巻線が組み込まれています。

センサー付き- センサー付きとは、モーターの内部センサーを使用してローターと通信するタイプのブラシレスモーターを指します。

位置情報を電子速度制御装置に戻します。VXL-3s 電子速度制御は、アプリケーションがセンサー付きモーターの恩恵を受ける場合（一部の公認レーシング クラスなど）にセンサー付きモーターを使用できます。

センサーレス- センサーレスとは、以下を使用するブラシレス モーターを指します。

電子速度制御による高度な指示により、スムーズな操作を実現します。追加のモーターセンサーや配線は必要ありません。VXL-3s 電子速度コントロールは、スムーズなセンサーレス制御のために最適化されています。

サーボ- ステアリングを操作するモデル内の小型モーター ユニット 機構。

はんだ付けタブ- アクセス可能なモーター上の外部接続。

ワイヤーの交換が簡単に行えます。Velineon 3500 にははんだタブが装備されています。

送信機- スロットルと信号を送信する手持ち無線ユニット。

モデルへのステアリング指示。

トリム- 送信機の表面にあるスロットルおよびステアリング トリム ノブを調整することによって行われる、サーボのニュートラル位置の微調整。注: マルチファンクションノブは、スロットルトリム調整として機能するようにプログラムする必要があります。

サーマルシャットダウン保護- VXL-3s 電子速度制御で使用される温度感知電子機器は、トランジスタ回路の過負荷と過熱を検出します。過度の温度が検出された場合、電子機器への損傷を防ぐためにユニットは自動的にシャットダウンします。

2 チャンネル無線システム- TQi 無線システム。以下で構成されます。

受信機、送信機、サーボ。このシステムは、スロットル操作とステアリング操作の 2 つのチャンネルを使用します。

電圧- 電圧は電位差の尺度です。

バッテリーのプラス端子とアースの間など、2 点間。庭のホースに例えると、電流はホース内の水の流れの量ですが、電圧はホース内に水を強制的に流す圧力に対応します。

無線システムに関する重要な注意事項

- 受信機のアンテナ線をねじらないでください。アンテナ線のよじれ範囲が狭くなります。
- 受信機のアンテナ線を切断しないでください。アンテナを切断すると通信範囲が狭くなります。• モデル内のアンテナ

ナ線を可能な限り延長してください。

最大範囲。アンテナ線を体外に出す必要はありませんが、アンテナ線を巻き付けたり、コイル状に巻いたりすることは避けてください。

- アンテナチューブで保護せずにアンテナワイヤーを身体の外に延ばさないでください。アンテナワイヤーが切断または損傷し、通信範囲が狭くなる可能性があります。損傷の可能性を防ぐために、ワイヤーを本体内部（アンテナチューブ内）に保管することをお勧めします。



無線範囲の損失を防ぐために、黒いワイヤーをねじったり切断したり、金属の先端を曲げたり切断したり、金属の先端の白いワイヤーを曲げたり切断したりしないでください。



正しい



いいえ



いいえ

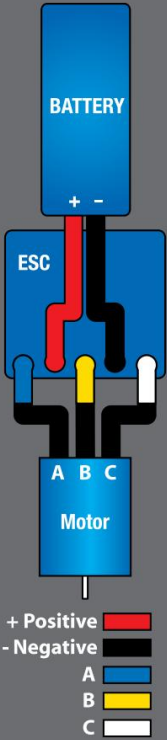


いいえ



Velineon 3500 仕様タイプ:
ブラシレス モーター
RPM/ボルト:
3500磁石の種類:超高温焼結
ネオジム接続タイプ: 3.5
mm プレート
ワイヤー サイズ: 12 ゲージ最大 RPM:
50,000直径: 36 mm
(1.42 インチ) (540
サイズ)
長さ: 55mm (2.165インチ)
重量: 262g (9.24オンス)

ESC/モーター配線図



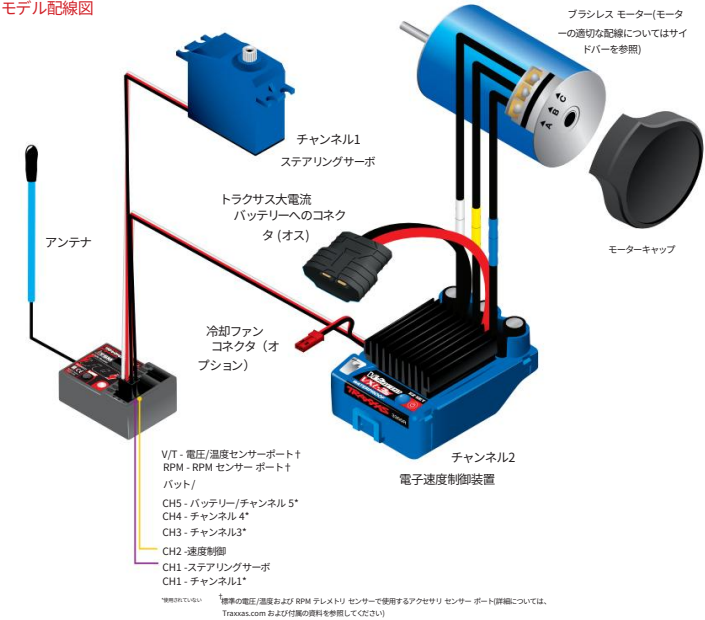
お使いのモデルには、Traxxas Link™ モデル メモリを備えた最新の TQi 2.4GHz 送信機が装備されています。送信機にはスロットルとステアリングを制御するための 2 つのチャンネルがあります。モデル内の受信機には 5 つの出力チャンネルがあります。このモデルには 1 つのサーボと電子速度コントロールが装備されています。

送信機と受信機

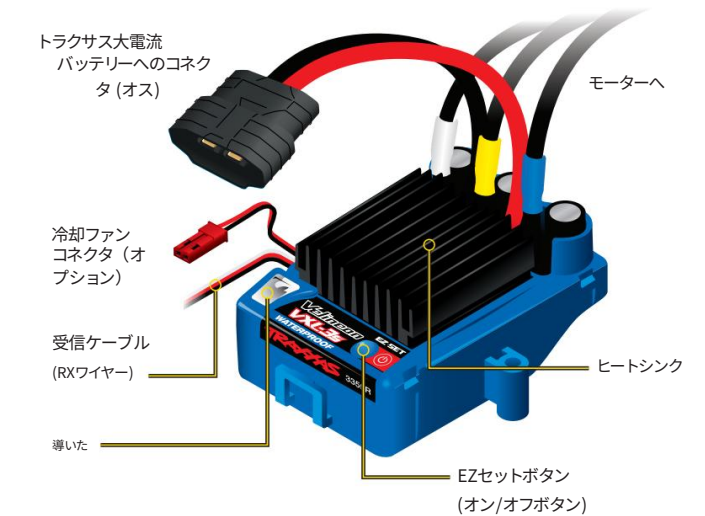


** Telemetry Expander Module で使用するアクセサリ センサー ポート (詳細については、Traxxas.com を参照してください)

モデル配線図



VXL-3s 電子速度制御



送信機の電池の取り付け

TQi 2.4GHz 送信機は単三電池 4 本を使用します。バッテリー収納部は送信機のベースにあります。



1. タブを押してドアをスライドさせて、バッテリー収納部のドアを取り外します。
2. 電池収納部に示されている正しい向きで電池を取り付けます。

3. バッテリー収納部のドアを再度取り付けて、カチッと閉めます。
4. 送信機の電源を入れ、ステータス LED が点灯していることを確認します。
緑の光。

ステータス LED が赤く点滅する場合は、送信機の電池が弱くなっているか、放電しているか、または正しく取り付けられていない可能性があります。新しい電池または新しく充電した電池と交換してください。ステータス LED は、モデルに取り付けられているバッテリー バックの充電レベルを示すものではありません。送信機のステータス LED コードの詳細については、29 ページの「トラブルシューティング」セクションを参照してください。



充電器とバッテリーの選択

あなたのモデル

お使いのモデルにはバッテリーまたは充電器が含まれていません。このモデルのスピードコントロールは、LiPo バッテリーと NiMH バッテリーの両方に対応しています。Traxxas 高電流コネクタを備えた NiMH または 2 s LiPo バッテリーが 1 つ必要です。最大限のパフォーマンスとより安全な充電のために、Traxxas Power Cell iD バッテリーを強くお勧めします。次の表は、お使いのモデルで利用可能なすべてのパワーセル バッテリーのリストです。

iD 搭載 LiPo バッテリー

2869X 7600mAh 7.4V 2セル 25C LiPo バッテリー-2872X 5000mAh

11.1V 3セル 25C LiPo バッテリー-2843X 5800mAh 7.4V 2セル 25C

LiPo バッテリー* 2849X 4000mAh 11.1V 3セル 25C LiPo バッテリー*

28 57X 6400mAh 11.1V 3セル 25C リポバッテリー**

*よりしっかりとフィットさせるには、付属のフォームブロックを使用する必要があります
**オプションのバッテリー拡張キットが必要です (部品番号 3725X、別売り)

iD搭載ニッケル水素電池

2923X バッテリー-パワーセル、3000mAh (NiMH、7-C フラット、8.4V)

2940X バッテリー、シリーズ 3 パワーセル、3300mAh (NiMH、7-C フラット、8.4V)

2950X バッテリー、シリーズ 4 パワーセル、4200mAh (NiMH、7-C フラット、8.4V)

2960X バッテリー、シリーズ 5 パワーセル、5000mAh (NiMH、7-C フラット、8.4V)



警告: 火災の危険があります!

リチウムポリマー (LiPo) バッテリーのユーザーは、4 ページから始まる警告と注意事項を必ずお読みください。LiPo バッテリーには必ず LiPo バランス充電器を使用してください。そうしないと、バッテリーが損傷し、火災の可能性があります。

選択したバッテリーに対して正しいタイプの充電器を選択していることを確認してください。Traxxasでは、より安全な充電、最大限のバッテリー寿命、パフォーマンスを実現するために、純正の Traxxas EZ-Peak® iD 充電器を選択することをお勧めします。

充電器	部品番号	ニッケル水素電池		リポ	バッテリー ID	
		互換性のあるセル	互換性			
EZ-Peak Plus、4アンブ	2970	はい	はい	はい	はい	3秒
EZ-Peak Live、12アンブ	2971	はい	はい	はい	はい	4秒
EZ-Peak Dual、8アンブ	2972	はい	はい	はい	はい	3秒
EZピークライブデュアル、26アンペア	2973	はい	はい	はい	はい	4秒
EZ-Peak Plus 4s、8アンブ	2981	はい	はい	はい	はい	4秒



ステータス LED が緑色に点灯しない場合は、電池の極性を確認してください。LED から他の点滅信号が表示された場合は、29 ページの表を参照してコードを特定してください。



適切な電池を使用する送信機は単 3 形電池を使用します。新しいアルカリ電池を使用してください。充電式単三電池は送信機の性能を最適化するのに十分な電圧を供給できないため、TQi 送信機に電力を供給するために充電式単三電池を使用しないでください。

注意: 制御を失うことを避けるために、バッテリーが弱くなっている最初の兆候 (赤いライトの点滅) が現れたら、モデルの実行を中止してください。



Battery iD

Traxxas 推奨バッテリーパ

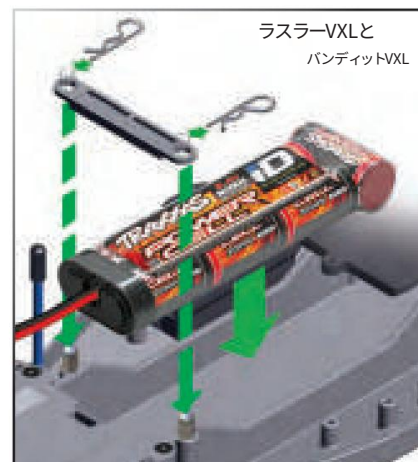
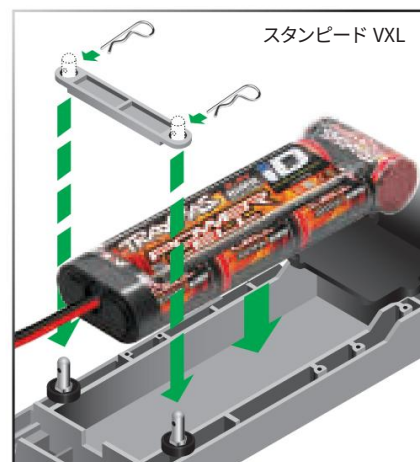
ックには Traxxas Battery iD が搭載されています。この独自の機能により、Traxxas バッテリー

充電器 (別売り) が接続されたバッテリーパックを自動的に認識し、バッテリーの充電設定を最適化することができます。これにより、充電器の設定やメニューについて心配する必要がなくなり、最も簡単で安全な充電ソリューションが実現します。

この機能と利用可能な Traxxas iD 充電器とバッテリーの詳細については、Traxxas.com にアクセスしてください。

バッテリー パックの取り付けバツ

テリー パックをモデルのバッテリー コンパートメントに配置し、バッテリー ホールドダウンをポストの上に置きます。ボディクリップを使用してバッテリーの押さえをポストの穴に固定します。まだバッテリーパックを接続しないでください。



Traxxas 高電流コネクタお使いのモデルには Traxxas 高電流コネクタが装備されています。標準コネクタの制限

電流の流れが大きくなり、Velineon ブラシレス パワーシステムの出力を最大化するために必要な電力を供給できなくなります。



Traxxas コネクタの金メッキ端子は広い接触面を備えており、最小限の抵抗で正の電流が流れます。安全で長持ちし、握りやすい Traxxas コネクタは、バッテリーが供給するすべての電力を引き出すように設計されています。

無線システムの制御



無線システムのルール

- 常に TQi 送信機の電源を最初にオンにし、最後にオフにします。これこの手順は、モデルが別の送信機または他のソースから漂遊信号を受信して制御不能になるのを防ぐのに役立ちます。お使いのモデルには、この種の誤動作を防ぐための電子フェイルセーフが備わっていますが、モデルの暴走に対する第一の最善の防御策は、常に送信機の電源を最初にオンにし、最後にオフにすることです。• 無線システムには常に新しい電池、または新しく充電した電池を使用してください。

電池が消耗すると、受信機と送信機間の無線信号が制限されます。無線信号が失われると、モデルの制御が失われる可能性があります。



- 送信機と受信機を相互にバインドするには、送信機の電源を入れてから 20 秒以内にモデル内の受信機の電源を入れる必要があります。送信機の LED が赤色で速く点滅し、リンクの失敗を示します。見逃した場合は、送信機をオフにして最初からやり直してください。

- バッテリーを接続する前に、必ず送信機の電源を入れてください。

無線システムの基本調整

ステアリング トリ

ム送信機の表面にある電子ステアリング トリムは、ステアリング チャンネルのニュートラル (中心) 点を調整します。

注:ステアリング トリムの調整中は、Traxxas Stability Management (TSM) を完全にオフにする必要があります。TSM の調整については 19 ページを参照してください。



マルチファンクションノブマ

ルチファンクションノブは、さまざまな機能を制御するようにプログラムできます。

工場出荷時、マルチファンクションノブは Traxxas Stability Management (TSM) を制御します。TSM の詳細については、19 ページを参照してください。



無線システムの使用

TQi 無線システムは工場ですべて事前調整されています。輸送中に動く可能性があるため、モデルを実行する前に調整を確認する必要があります。その方法は次のとおりです。

- 1.送信機のスイッチをオンにします。送信機のステータス LED

緑色に点灯している必要があります (点滅していません)。

- 2.すべてのタイヤが地面から離れるようにモデルをブロックまたはスタンドの上に置きます。モデルの可動部分に手を触れないようにしてください。

- 3.モデルのバッテリーパックをスピードコントロールに接続します。

- 4.オン/オフスイッチは速度制御に統合されています。とともに送信機の電源をオンにして、EZ-Set ボタンを押して放します (0.25 秒)。LED が赤く光ります (下記の注を参照)。これによりモデルがオンになります。VXL-3 の電源をオフにするには、LED が消えるまで EZ-Set ボタンを押し続けます (0.5 秒)。注: LED が緑色に光る場合は、低電圧検出が有効になっています。これにより、付属の NiMH バッテリー パックの性能が低下する可能性があります。工場出荷時のデフォルト設定では、低電圧検出は無効になっています (LED が赤色に点灯します)。



モデルへの損傷を避けるために、必ず最初に TQi 送信機をオンにし、最後にオフにすることを忘れてないでください。



自動フェイルセーフ TQi 送信機および受信機には、ユーザーによるプログラミングを必要としない自動フェイルセーフ システムが装備されています。信号損失または干渉が発生した場合、スロットルはニュートラルに戻り、ステアリングは最後に指示された位置を保持します。モデルの操作中にフェールセーフがアクティブになった場合は、モデルを再度操作する前に信号損失の理由を特定し、問題を解決してください。



バッテリーが弱っている最初の兆候が現れたら、すぐに停止してください。一度もない場合は送信機をオフにしてください。バッテリーパックが差し込まれているモデルが制御不能になる可能性があります。



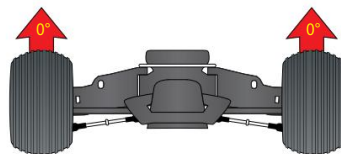


リバースの使用: 走行中にスロットル トリガーを前方に押してブレーキをかけます。停止したらスロットルトリガーをニュートラルに戻します。スロットル トリガーをもう一度前方に押すと、プロポーションал リバースが作動します。

5.送信機のステアリングホイールを前後に回し、ステアリングサーボが素早く作動するか確認します。また、ステアリング機構に緩みや固着がないか確認してください。ステアリングの動作が遅い場合は、バッテリーが弱っていないか確認してください。

6.下を向いているとき

モデルでは、前輪がまっすぐ前を向いている必要があります。ホイールが左右にわずかに回転している場合は、TSM をオフにして (19 ページを参照)、ステアリング トリム コントロールを送信機のステアリング トリム コントロールをゆっくりと調整して、ホイールが直進するように調整します。次に、マルチファンクションノブを希望の TSM 設定に戻します。



7.スロットル トリガーをゆっくりと操作して、

前進と後進の動作、スロットルトリガーがニュートラルのときにモーターが停止することを確認します。警告:モデルが上昇しているときに、前進または後進でフルスロットルを使用しないでください。

8. 調整が完了したら、モデルの受信機の電源を切り、次にハンドヘルド型送信機の電源を切ります。

無線システムの範囲テストモデルを使用

してセッションを実行する前に、無線システムが適切に動作することを確認するために範囲テストを行う必要があります。

- 1.前のセクションで説明したように、無線システムの電源を入れ、その動作を確認します。
- 2.友人にモデルを持ってもらいます。手や衣服がモデル上の車輪やその他の可動部品にかからないようにしてください。
- 3.モデルを操作する予定の最も遠い距離に到達するまで、送信機を持ったモデルから離れます。
- 4.送信機のコントロールをもう一度操作して確認します。
モデルが正しく応答することを確認します。
- 5.無線システムに問題がある場合、または現在地で無線信号に対する外部干渉がある場合は、モデルを操作しないでください。

高速化にはより長い距離が必要モデルの運転が速くなると、無線通信範囲の限界に近づくのも早くなります。時速 100 マイルで、モデルは毎秒 88 フィートを移動できます。スリル満点ですが、モデルが射程内に収まるよう注意してください。モデルが最高速度に到達するのを確認したい場合は、トラックの走行エリアの遠端ではなく中央に位置し、自分の位置に向かってトラックを運転したり、自分の位置を通り過ぎたりすることが最善です。

このテクニックにより、無線の到達範囲が最大化されるだけでなく、モデルが近くに留まり、見やすく、制御しやすくなります。モデルをどれだけ速く、あるいは遠くまで運転しても、あなた、モデル、他の人の間には常に十分なスペースを残してください。自分自身や他の人に向かって直接運転しないでください。

TQi バインド手順適切に動作

させるには、送信機と受信機を電子的に「バインド」する必要があります。これは工場で行われています。

システムを再バインドする必要がある場合、または追加の送信機または受信機にバインドする必要がある場合は、次の手順に従ってください。注:レシーバーはバインドのために 4.8 ~ 6.0 v (公称) 電源に接続する必要があり、トランスミッターとレシーバーは互いに 5 フィート以内にある必要があります。

1. 送信機の SET ボタンを押したままにして、送信機のスイッチをオンにします。
送信機の LED が赤色でゆっくり点滅します。
SET ボタンを放す
2. 受信機の LINK ボタンを押したままにして電源を入れます。
EZ-Set ボタンを押して速度を制御します。リンクボタンを放します。
3. 送信機と受信機の LED が緑色に点灯すると、
システムはバインドされており、すぐに使用できます。モデルを運転する前に、ステアリングとスロットルが正しく動作することを確認してください。

トラックススタビリティマネジメント (TSM)



Traxxas Stability Management (TSM) を使用すると、トラクションが低い状況でも車両の制御を維持できるようになり、Traxxas モデルに組み込まれたすべての速度と加速を体験できるようになります。TSM は、滑りやすい路面でも、フィッシュテール、スピンアウト、コントロールの喪失を引き起こすことなく、フルスロットルで直進加速するのに役立ちます。TSM はブレーキ制御も劇的に改善します。TSM が楽しみを邪魔したり予期せぬ副作用を引き起こすことなく修正してくれるため、高速コーナリングとコントロールも可能になります。

TQi 送信機のマルチファンクション ノブは、TSM を制御するようにプログラムされています。TSM の推奨 (デフォルト) 設定は、ノブを 12:00 の位置 (ダイヤルのゼロのマーク) に回転することです。

ノブを時計回りに回すとアシストが増加します。ノブを反時計回りに回すとアシストが減少します。TSM を完全にオフにするには、ノブを反時計回りに止まるまで回します。

注: TSM は、後進運転またはブレーキをかけると自動的に無効になります。

トラクションのある路面を走行する場合は、TSM 設定を下げて、パワー スライドやドリフトなどに対して車両がより「緩く」感じられるようにします。トラクションが非常に少ない路面 (緩い土、滑らかなコンクリート、氷/雪) では、TSM を増やして加速とコントロールを最大化します。

TSM をオンまたはオフにして運転し、車両の制御がどのように簡単かつ正確になるかをテストします。詳細については、Traxxas.com/tsm をご覧ください。

注: ステアリングトリムを調整するときは、TSM を完全にオフにする必要があります。



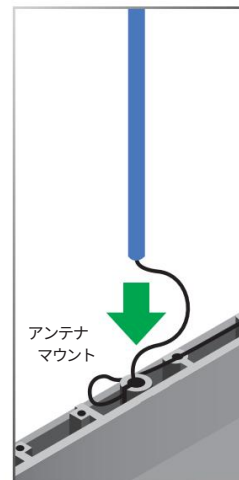
アンテナのセットアップ

受信機アンテナは工場出荷時にセットアップおよび取り付けられています。

アンテナを再度取り付けるには:

スタンビード VXL

1. アンテナワイヤーをスライドさせて、アンテナチューブを完全に伸ばします。完全に挿入すると、ワイヤーはチューブ キャップの約 1/2 インチ下に達するはずです。アンテナ線にたるみを残さないでください。
2. アンテナチューブの根元を差し込みます。シャーシの成形ポストに差し込みます。アンテナ線を圧着しないように注意してください。アンテナ線を曲げたりねじったりしないでください。アンテナチューブを短くしないでください。詳細については、サイドバーを参照してください。

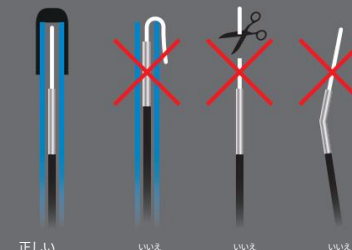


ラスラー VXL とバンディット VXL

1. アンテナワイヤーを底部にスライドさせます。アンテナの白い先端が黒いキャップの下にチューブの上部に来るまで、アンテナチューブの先端を差し込みます。
2. アンテナワイヤーがアンテナマウントのスロットに入っていることを確認しながら、アンテナチューブをマウントに挿入します。アンテナ線を圧着しないように注意してください。アンテナ線を曲げたりねじったりしないでください。アンテナチューブを短くしないでください。詳細については、サイドバーを参照してください。
3. 止めネジを横に取り付けます。アンテナ管、付属の 1.5 mm レンチを使用して、アンテナチューブが所定の位置にしっかりと固定されるまでネジを締めます。締めすぎないでください。



無線範囲の損失を防ぐために、黒いワイヤーをねじったり切断したり、金属の先端を曲げたり切断したり、金属の先端の白いワイヤーを曲げたり切断したりしないでください。



電子速度制御の調整



VXL-3sの仕様

入力電圧:
4.8-11.1V (4 ~ 9 セル NiMH または
2S ~ 3S LiPo)

対応モーター : ブラシ
レス

モーター制限:
なし

連続電流:
200A

ピーク電流:
320A

BEC電圧: 6.0V
DC

トランジスタの種類:
MOSFET

バッテリーコネクタ:
トラクサス大電流
コネクタ

モーターコネクタ: TRX
3.5mm プレットコネク
タ

モーター/バッテリー配線:
12 ゲージ Maxx® ケーブル
熱保護: 2 段階のサーマル
シャットダウン



VXL-3s は、ロックされたローター保護を
備えています。VXL-3 は、モーターが回
転していることを確認します。モー
ターがロックされているか損傷している場
合、モーターが自由に回転できるよう
になるまで、ESC はフェールセーフ状態
になります。

VXL-3s バッテリー設定 (低電圧検出設定)

Velineon VXL-3s 電子速度コントロールには、低電圧検出機能が組み込まれて
います。低電圧検出回路はバッテリー電圧を常に監視します。バッ
テリー電圧が LiPo バッテリー パックの最小推奨放電電圧しきい値に達し
始めると、VXL-3 は出力を 50% スロットルに制限します。バッテリー電圧が最
小しきい値を下回ろうとすると、VXL-3 はすべてのモーター出力をシャットダ
ウンします。速度コントロールの LED が赤色でゆっくり点滅し、低電圧シャ
ットダウンを示します。VXL-3 は、完全に充電されたバッテリーが接続される
までこのモードを維持します。

モデルの電源を入れると、VXL-3s スピード コントロールのステータス
LED が緑色に点灯し、LiPo バッテリーの過放電を防ぐために低電圧検出
が有効になったことを示します。LiPo バッテリーは、LiPo バッテリーの使
用に伴うリスクについて理解している最も上級のユーザーのみを対象と
しています。



警告: 火災の危険があります!
低電圧検出が無効になっているこの車両では、LiPo バッ
テリーを使用しないでください。

低電圧検出が有効になっていることを確認します。1. 送信
機をオンにします (スロットルをニュートラルにします)。

2. 完全に充電されたバッテリー パックを VXL-3 に接続します。

3. EZ-Set ボタンを押して放し、VXL-3 の電源をオンにします。LED が緑色の場合は、
その後、低電圧検出がアクティブになります。

低電圧検出が無効になっている場合: 1.
VXL-3 の LED が赤色で点灯していることを確認します。

2. EZ-Set ボタンを 10 秒間押し続けます。

LED が消灯し、緑色に点灯します。また、モーターからは「ち上がり」
の楽音が発せられます。

3. 低電圧検出が有効になりました。

NiMH バッテリー ユーザーの場合は、次の手順に従って低電圧検出 (NiMH 設定) を無効にし
ます。1. VXL-3 の

LED が緑色に点灯していることを確認します。

2. EZ-Set ボタンを 10 秒間押し続けます。

LED が消灯し、次に赤色に点灯します。また、モーターからは「落
ちる」楽音が鳴ります。

3. 低電圧検出が無効になりました。

VXL-3s ESC の送信機の調整 VXL-3s ESC をプログラ

ムする前に、送信機が適切に調整されていること (工場出荷時のデフォルトに戻されていること) を
確認することが重要です。そうしないと、速度制御から最高のパフォーマンスが得られない可能性が
あります。

送信機は次のように調整する必要があります。送信機の

設定を調整した場合は、工場出荷時のデフォルトにリセットします。

1. 送信機の電源をオフにします。

2. MENU と SET の両方を押します。

3. 送信機の電源をオンにします。

4. MENU と SET を放します。送信機の LED が赤く点滅します。



5. MENU を 1 回押します。送信機の LED が赤色で 2 回繰り返して点滅します。

6. SET を押して設定をクリアします。LED が緑色に点灯し、送信機がオンになります。
デフォルトに復元されました。

VXL-3s セットアップ プログラミング (ESC と送信機の校正)

始める前に、プログラミングの手順をすべて読んでください。プログラミング中に道に迷ったり、予期しない
結果が得られた場合は、バッテリーのプラグを抜き、数秒待ってからバッテリーを再
び差し込み、最初からやり直してください。

1. 完全に充電されたバッテリー パックを VXL-3 に接続します。

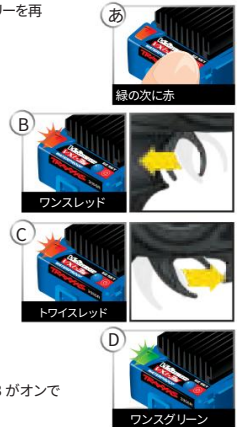
2. 送信機の電源を入れます (スロットルはニュートラル)。

3. EZ-Set ボタン (A) を押し続けます。LED は最初に緑色に変わり、
次に赤色に変わります。EZ-Set ボタンを放します。

4. LED が赤に 1 回点滅したら、スロットルを引きします。
トリガーをフルスロットル位置まで引き、そこに保持します (B)。

5. LED が赤に 2 回点滅したら、スロットル トリガーをフルリバースまで
押して、そこに保持します (C)。

6. LED が緑色に 1 回点滅すると、プログラミングが完了します。
完了。LED は緑色または赤色に光り (低電圧検出設定に応じて)、VXL-3 がオンで
ニュートラル (D) であることを示します。



VXL-3 の操作速度制御を

操作してプログラミングをテストするには、すべての駆動輪が地面から離れるように車両を安定したプロ
ックまたはスタンドに置きます。
モーターワイヤー「A」と「C」を外します (14 ページを参照)。これにより、テスト中にモーターが車輪を駆動
しなくなります。モーターワイヤーを外さずにプログラミングをテストしないでください。

以下のステップ 1 ~ 7 では、低電圧検出が有効になり (工場出荷時のデフォルト)、LED が緑色に点灯するこ
とに注意してください。低電圧検出が無効になっている場合は、以下の手順 1 ~ 7 で LED が緑色ではなく赤色に
点灯します。低電圧検出が無効になっている間は、LiPo バッテリーを決して使用しないでください。

1. 送信機の電源が入っている状態で、EZ-Set ボタンを押して放します。LED が緑色に光ります。これによ
り、VXL-3 がオンになります。

2. 前進スロットルを適用します。フルスロットルパワーに達するまで LED は消灯します。
フルスロットルにすると、LED が緑色に点灯します。

3. トリガーを前方に動かしてブレーキをかけます。ブレーキ制御は完全に比例することに注意してください。LED
は最大制動力に達するまで消灯します。フルブレーキ時は LED が緑色に点灯します。

4. スロットルトリガーをニュートラルに戻します。LED が緑色に光ります。

5. スロットル トリガーを再び前方に動かして、リバースを動作させます (プロファイル #1)。LED が消灯します。
逆方向電力が最大に達すると、LED が緑色に点灯します。

6. 停止するには、スロットルトリガーをニュートラルに戻します。リバースからフォワードに切り替える際には遅
延がプログラムされていることに注意してください。これにより、トラクションの高い路面でのトランスミッシ
ョンの損傷を防ぎます。

7. VXL-3 の電源をオフにするには、LED が消えるまで (0.5 秒) EZ-Set ボタンを押します。

VXL-3s プロファイルの選択速

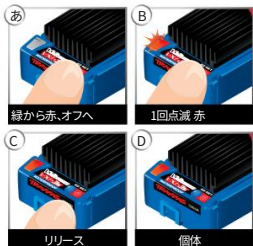
速度制御は工場出荷時にプロファイル #1 (100% 前進、ブレーキ、後進) に設定されています。逆方向を無効にする (プロファイル #2)、または 50% の順方向と 50% の逆方向を許可する (プロファイル #3) には、次の手順に従います。速度制御は受信機とバッテリーに接続する必要があります。送信機は前述のように調整する必要があります。プロファイルは、プログラミングモードに入ることで選択されます。

プロファイルの説明プロ

ファイル #1 (スポーツ モード): 100% 前進、100% ブレーキ、100% 逆方向 プロファイル #2 (レース モード): 100% 前進、100% ブレーキ、後進なし プロファイル #3 (トレーニング モード): 50% 前進、100% ブレーキ、50% リバーススポーツ モードの選択(プ

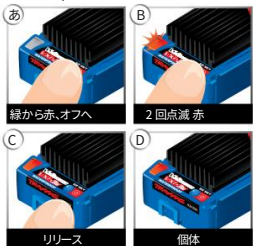
ロファイル #1: 100% フォワード、100% ブレーキ、100% リバース)

- 完全に充電されたバッテリー パックを VXL-3 に接続し、送信機の電源を入れます。
- VXL-3 がオフの状態、長押しします。EZ-Set ボタンを LED が緑色に点灯し、次に赤色に点灯し、赤色で点滅し始めるまで押し続けます (プロファイル番号を示します)。
- LED が赤色に 1 回点滅したら、EZ-Set ボタンを放します。
- LED が点滅した後、緑色 (低電圧検出アクティブ) または赤色 (低電圧検出無効) に点灯します。モデルはすぐに運転できる状態になっています。



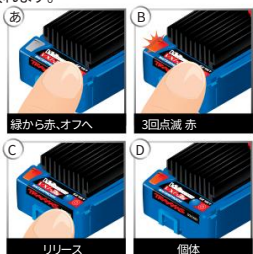
レースモードの選択(プロファイル #2: 100% 前進、100% ブレーキ、後進なし)

- 完全に充電されたバッテリー パックを VXL-3 に接続し、送信機の電源を入れます。
- VXL-3 がオフの状態、長押しします。EZ-Set ボタンを LED が緑色に点灯し、次に赤色に点灯し、赤色で点滅し始めるまで押し続けます (プロファイル番号を示します)。
- LED が赤色に 2 回点滅したら、EZ-Set ボタンを放します。
- LED が点滅した後、緑色 (低電圧検出アクティブ) または赤色 (低電圧検出無効) に点灯します。モデルはすぐに運転できる状態になっています。



トレーニングモードの選択(プロファイル #3: 50% 前進、100% ブレーキ、50% 後進)

- 完全に充電されたバッテリー パックを VXL-3 に接続し、電源を入れます。送信機。
- VXL-3 がオフの状態、EZ-Set ボタンを押し続けます。LED が緑色に点灯し、次に赤色に点灯し、赤色で点滅し始めるまでボタンを押します (プロファイル番号を示します)。
- LED が赤で 3 回点滅したら、EZ-Set ボタンを放します。



- LED が点滅した後、緑色 (低電圧検出アクティブ) または赤色 (低電圧検出無効) に点灯します。モデルはすぐに運転できる状態になっています。

注: 必要なモードを見逃した場合は、EZ-Set ボタンを押したままにすると、ボタンが放されてモードが選択されるまで点滅サイクルが繰り返されます。

LED コードと保護モード



- 緑色に点灯: VXL-3 の電源ライト。低電圧検出が有効になっています (LiPo 設定)。
- 赤の点灯: VXL-3 の電源オン ライ



- ト、低電圧検出は無効です (NiCad/NiMH 設定)。低電圧検出が無効になっている間は、LiPo バッテリーを決して使用しないでください。
- 赤のゆっくりとした点滅 (低電圧検出オン): VXL-3 は低電圧保護に入りました。



- バッテリー電圧が LiPo バッテリー パックの最小推奨放電電圧しきい値に達し始めると、VXL-3 は出力を 50% スロットルに制限します。バッテリー電圧が最小しきい値を下回ろうとすると、VXL-3 はすべてのモーター出力をシャットダウンします。速度コントロールの LED が赤色でゆっくり点滅し、低電圧シャットダウンを示します。VXL-3 は、完全に充電されたバッテリーが接続されるまでこのモードを維持します。
- 赤の高速点滅: サーマル シャットダウン保護ステージ 1。モーターの電力が通常より低く、VXL-3 が高温の場合、VXL-3 は過剰な電流の流れによる過熱を防ぐためにステージ 1 サーマル シャットダウン保護に入っています。モーターに電力が供給されておらず、VXL-3 が非常に高温になっている場合、VXL-3 はステージ 2 のサーマル シャットダウン



- ン保護に入り、自動的にシャットダウンします。VXL-3 を冷却します。モデルが状況に合わせて適切に調整されていることを確認してください (27 ページを参照)。
- 赤で非常に速く点滅: サーマルシャットダウン保護と低電圧保護 (上記を参照) が同時に発生しました。
- 交互。赤の次に緑の点滅: モーターに電力が供給されていない場合、VXL-3 は過電圧保護に入ります。電圧が高すぎるバッテリーを使用すると、VXL-3 はフェールセーフ モードに入ります。



警告: 入力電圧が約 20 ボルトを超えると、ESC が損傷する可能性があります。

12.6 最大ピーク入力電圧を超えないようにしてください。

- 緑色の点滅: VXL-3 は、送信機の



スロットル

トリム (28 ページを参照) が正しく設定されていないことを示しています。マルチファンクションノブがスロットルトリムに設定されている場合は、スロットルトリムを中央の「0」設定に調整します。



特許取得済みのトレーニング モード (プロファイル #3) は、前進および後進スロットルを 50% 削減します。トレーニング モードは出力を低減するために提供されており、初心者ドライバーがモデルをより適切に制御できるようにします。運転スキルが向上したら、スポーツモードまたはレースモードに変更するだけでフルパワーで操作できます。



高速モード変更に関するヒント VXL-3 は、デフォルトでプロファイル 1 (スポーツ モード) に設定されています。プロファイル 3 (トレーニング モード) にすばやく変更するには、送信機をオンにした状態で、ライトが赤で 3 回点滅するまで EZ-Set ボタンを押し続けてから放します。フルパワーにするには、ライトが赤で 1 回点滅するまで EZ-Set ボタンを押し続けてから放すことで、すぐにプロファイル 1 (スポーツ モード) に戻ります。



VXL-3 には、偶発的なアクティベーションを防ぐプログラミングが組み込まれています。前進中に後進し、その逆も同様です。完全に停止し、スロットルトリガーを放し、反対のスロットルを加えてモーターを希望の方向に動かす必要があります。

モデルを操作する

さあ、楽しい時間を過ごしましょう！このセクションには、モデルの運転と調整に関する手順が含まれています。先に進む前に、留意すべき重要な注意事項がいくつかあります。• 実行の合間にモデルを数分間冷却させます。これは、長時間の稼働が可能

な大容量バッテリー バックを使用する場合に特に重要です。温度を監視すると、バッテリーとモーターの寿命が延びます。温度監視に関する上級ユーザー向け情報については、27 ページを参照してください。

- バッテリー残量が少ない状態でモデルを操作し続けしないでください。制御を失う可能性があります。バッテリー残量低下の兆候には、動作が遅い、サーボが遅い（センターに戻るのが遅い）、または低電圧検出回路による ESC のシャットダウンが含まれます。バッテリーが弱っている最初の兆候が現れたら、すぐに停止してください。送信機の電池が消耗すると、赤い電源ライトが点滅し始めます。直ちに停止し、新しい電池を取り付けてください。• 夜間、公道、または大勢の人が集まる場所でモデルを運転しないでください。• モデルが物体に突き当たった場合は、モーターを継続して回転させないでください。

続行する前に障害物を取り除いてください。モデルで物を押したり引いたりしないでください。• モデルは無線で制御されているため、制御できない多くの発生源からの無線干渉の影響を受けます。無線干渉により制御が一時的に失われる可能性があるため、衝突を防ぐためにモデルの周囲の全方向に安全マージンを確保してください。• モデルを運転するときは常に良識ある常識に従ってください。意図的に乱暴で乱暴な運転をすると、性能が低下したり部品が破損したりするだけです。モデルを大切に扱い、末永くご愛用ください。• 付属のオプションピニオンを使用して最高速走行を行う場合は、舗装路のみの走行に限定してください。芝生やオフロードを走行すると、モデルの電気システムに過度の負荷がかかる可能性があります。• 高性能車両は小さな振動を発生し、時間の経過とともにハードウェアが緩む可能性があります。車両のホイールナットやその他のネジを頻繁にチェックして、すべてのハードウェアが適切に締められていることを確認してください。

稼働時間について稼働

時間に影響を与える大きな要因は、バッテリーの種類と状態です。バッテリーのミリアンペア時 (mAh) 定格によって、その「燃料タンク」の大きさが決まります。3000 mAh バッテリー バックは、理論的には 1500 mAh スポーツ バックの 2 倍長く動作します。利用可能なバッテリーの種類や充電方法は多岐にわたるため、モデルの正確な動作時間を示すことは不可能です。

実行時間に影響を与えるもう 1 つの主要要素は、モデルの駆動方法です。モデルを停止から最高速度まで繰り返し運転したり、激しい加速を繰り返したりすると、実行時間が短くなる可能性があります。

稼働時間を増やすためのヒント•購

入できる最大 mAh 定格のバッテリーを使用してください。• 高品質のピーク検出充電器を使用してください。• バッテリーと充

電器のメーカーが提供するメンテナンスと手入れの指示をすべて読み、それに従ってください。

- バッテリーの正しい低電圧検出設定を使用してください (20 ページを参照)。NiMH バッテリーの稼働時間を最大限に高めるために、低電圧検出をオフにすることができます。低電圧検出がオフになっている間は、LiPo バッテリーを決して使用しないでください。• VXL-3 を低温に保ちます。ESC ヒートシンク全体に十分な空気の流れを確保します。

- ギア比を下げます。小さいピニオンまたは大きい平歯車を取り付けると、歯車比が低下し、モーターとバッテリーからの電力消費が減少し、全体的な動作温度が低下します。• モデルを保守します。汚れや損傷した部品がドライブトレインの固着を引き起こさないようにしてください。モーターを清潔に保ちます。

mAh 定格と出力バッテリーの mAh 定格は、

最高速度のパフォーマンスに影響を与える可能性があります。高容量のバッテリー バックは、低 mAh 定格のバックよりも重負荷時の電圧降下が少なくなります。電圧電位が高いため、バッテリーが放電し始めるまで速度を上げることができます。

濡れた状態での走行

新しい Traxxas モデルは、モデル内の電子機器 (受信機、サーボ、電子速度制御) を保護する防水機能を備えて設計されています。これにより、水たまり、濡れた草、雪、その他の濡れた状況でもモデルを自由に運転して楽しむことができます。高い耐水性を備えていますが、このモデルは水中または完全に 100% 防水であるかのように扱わないでください。防水性は、取り付けられた電子部品にのみ適用されます。湿った状態での運転では、金属部品の腐食を防ぎ、適切な機能を維持するために、機械部品と電気部品に追加の注意とメンテナンスが必要です。

注意事項 • 適切

なケアを行わないと、モデルの一部の部分が水との接触により重大な損傷を受ける可能性があります。モデルのパフォーマンスを維持するには、濡れた状態で走行した後は追加のメンテナンス手順が必要になることに注意してください。追加のケアやメンテナンスの責任を引き受けたくない場合は、濡れた状態でモデルを実行しないでください。• すべてのバッテリーが湿った環境で使用できるわけではありません。バッテリーに相談してください

メーカーに問い合わせ、バッテリーが湿った状態でも使用できるかどうかを確認してください。LiPo バッテリーを濡れた状態で使用しないでください。

- Traxxas TQi 送信機は耐水性がありません。雨などの濡れた状態にさらさないでください。

- 暴風雨や雷が発生する可能性のある悪天候時には、モデルを操作しないでください。

- モデルを塩水 (海水) に接触させないでください。汽水 (淡水と海水の間)、またはその他の汚染水。塩水は導電性が高く、腐食性が高くなります。ピーチ上またはその近くでモデルを実行する予定がある場合は注意してください。

- 偶然の水との接触でも、モーターの寿命が短くなる可能性があります。モーターの寿命を延ばすために、濡れた状態でギアや運転スタイルを変更するには特別な注意を払う必要があります (詳細は後述)。

濡れた状態で車両を走行させる前に 1. 前に「濡れた状態で車両を走行させた後」のセクションを参照してください。

進んでいます。ウェットランニングでは追加のメンテナンスが必要であることを必ず理解してください。

2. ホイールには、空気がタイヤに出入りできるように小さな穴が成形されています。通常走行時。これらの穴に水が入り込み、内部に閉じ込められます。



タイヤに穴が開いていない場合は、タイヤを取り外してください。各タイヤに 2 つの小さな穴 (直径 3 mm または 1/8 インチ) を切ります。各穴はタイヤの中心線の近くに、180 度離れた位置にある必要があります。

3. RX ボックスの O リングとカバーが正しく取り付けられ、しっかりと取り付けられていることを確認します。
ネジがしっかりと締められ、青い O リングがカバーの端からはみ出していないことを確認してください。

4. バッテリーが湿った状態でも使用できることを確認します。
5. 低いギアを使用します (12T 程度の小さなピニオン ギア、または 12T 程度の平歯車) 90T)は、泥、深い水たまり、雪、またはタイヤが制限され、モーターにはるかに高い負荷がかかるその他の同様の状況で走行する場合に使用します。

モーターに関する注意事項

- Velineon モーターの寿命は、泥や水の中では大幅に短くなる可能性があります。モーターが過度に濡れたり水没した場合は、余分な水がなくなるまでスロットルを非常に軽くして (モーターをゆっくりと回転させて) ください。水で満たされたモーターにフルスロットルを適用すると、モーターが急速に故障する可能性があります。湿式モーターでのモーター寿命は、運転習慣によって決まります。モーターを水中に沈めないうください。• 湿った状態で運転するときは、温度によってモーターをギア調整しないでください。
い。モーターは水との接触により冷却されるため、適切なギアの正確な指示が得られません。

濡れた状態で車両を走行させた後1. タイヤを高速で回転させて水

を「飛ばす」ことで、タイヤの水を抜きます。これを行う 1 つの方法は、可能であれば平らで乾いた路面で高速バスを数回行うことです。

2. 電池を取り外します。

3. 庭のホースなどの低圧水でトラックから余分な汚れや泥を洗い流します。高圧洗浄機やその他の高圧水を使用しないでください。ベアリングやトランスミッションなどに水がかからないようにしてください。

4. トラックを圧縮空気で吹き飛ばします (オプションですが推奨)。切る
圧縮空気を使用する場合は安全メガネを着用してください。
5. トラックから車輪を取り外します。
6. すべてのベアリング、ドライブトレイン、ファスナーに WD-40®または類似の位置換軽油をスプレーします。

7. トラックをたせておくか、圧縮空気で吹き飛ばしてください。トラックを日当たりの良い暖かい場所に置くと、乾燥が促進されます。閉じ込められた水と油は数時間トラックから垂れ続けます。下の表面を保護するために、タオルまたはボール紙の上に置きます。

8. 予防措置として、密閉された受信機ボックスのカバーを取り外します。可能性は低いですが、湿潤走行中に湿気や微量の湿気や結露が受信機ボックスに侵入する可能性があります。これにより、受信機内の敏感な電子機器に長期的な問題が発生する可能性があります。保管時に受信機ボックスのカバーを外すと、内部の空気が乾燥します。このステップにより、受信機の長期的な信頼性を向上させることができます。受信機を取り外したり、ワイヤーを取り外したりする必要はありません。

- 9.追加のメンテナンス:以下の項目の分解・点検・注油の頻度を増やしてください。これは、長時間湿った状態で使用した後、または車両を長期間 (1 週間以上など) 使用しない場合に必要です。この追加のメンテナンスは、閉じ込められた湿気による内部のスチールコンポーネントの腐食を防ぐために必要です。•スタブ アクスルハウジング ベアリング:ベアリングを取り外し、洗浄し、油を再注入します。•トランスミッション:トランスミッションコンポーネントを取り外し、分解し、洗浄し、グリースを再塗布します。•ホイールベアリンググリース (自動車部品から入手)を軽く塗布してください。

ストア)金属ギアの歯に、分解および再組み立てについては、分解図を参照してください。•ディファレンシャル:ディファレンシャルコンポーネントを取り外し、分解し、洗浄し、グリースを再塗布します。工場出荷時には、デフには黒色のリチウム グリースが充填されていますが、シリコン デフ オイルで調整することもできます。デフにはシリコンオイルのみを使用してください。Traxxas は、モデルで使用するために特別に設計されたさまざまなディファレンシャル チューニング オイルを販売しています (詳細については、Traxxas.com を参照してください)。分解および再組み立てについては、分解図を参照してください。•Velineon モーター:モーターを取り外し、エアゾールモータークリーナーで清掃し、

ベアリングに軽量モーターオイルを再注油します。スプレー式エアゾールクリーナーを使用する場合は、必ず目の保護具を着用してください。

レシーバーボックス:防水シールの維持

無線機の取り外しと取り付け受信機ボックスの独自の設計により、ボックス内の防水シールを維持する能力を失うことなく、受信機の取り外しと取り付けが可能になります。特許出願中のワイヤー クランプ機能により、アフターマーケットの無線システムを設置し、受信機ボックスの防水機能を維持することもできます。

レシーバーの取り外し1.

- 2.5x8mm のキャップネジを 2 本外してワイヤー クランプを取り外します。

2. 2 本の 3x10mm キャップネジを取り外してカバーを取り外します。

3. 受信機を箱から取り出すには、単に持ち上げて横に置きます。

アンテナ ワイヤはまだクランプ領域内にあるため、まだ取り外すことができません。

4. 受信機からサーボケーブルを抜き、受信機を取り外します。

受信機の取り付け1. 電子速

度制御 (ESC)、サーボ、アンテナの配線を受信機ボックス上部 (A) を通して取り付けます。

2. 両面粘着フォームテープを使用して、受信機をボックスに取り付けます。ボックスのライトパイプが受信機の LED と位置が合っていることを確認してください。

注: 最高のパフォーマンスを得るには、図に示すように受信機を元の方向に取り付けることをお勧めします。

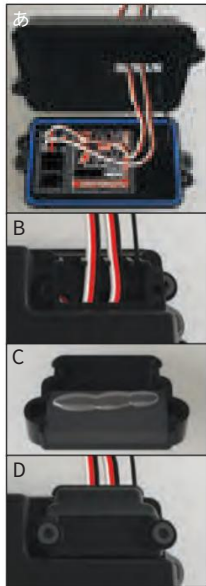
3. ESC とサーボのワイヤーを受信機に差し込みます。配線図は14ページを参照してください。

4. O リングがカバーによって挟まれたり損傷されたりしないように、O リングがレシーバー ボックスの底面の溝に正しく取り付けられていることを確認します。

5. レシーバーボックスの上部をレシーバーボックスの底部に置き、2 本の 3x10mm キャップネジを取り付けてしっかりと締めます。
6. カバーを検査して、O リングのシールが見えないことを確認します。

7. ワイヤーガイドを使用してワイヤーをきれいに配置します。
受信機ボックス上部 (B)、余ったESCとサーボの配線は受信機ボックス内にまとめてください。受信機ボックスから利用可能なアンテナ配線をすべて引き出します。

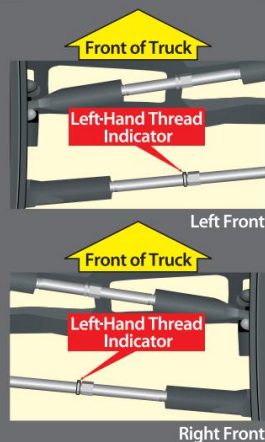
8. ワイヤー クランプ (C) のフォームにシリコン グリースの小さなビーズを塗布します。
9. ワイヤー クランプを取り付け2 本の 2.5x8mm キャップ ネジをしっかりと締めます (D)。



基本的なチューニング調整



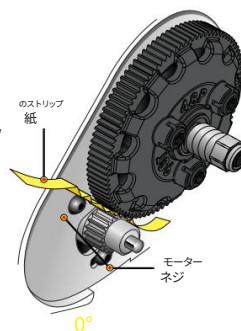
すべてのトウリンクはトラックに取り付けられているため、左ねじインジケーターは同じ方向を指します。これにより、レンチをどの方向に回してトウリンクの長さを増減するかを覚えやすくなります(方向は四隅すべてで同じです)。六角の溝は、トウリンクの左ねじのある側を示していることに注意してください。



モデルの運転に慣れてきたら、運転パフォーマンスを向上させるために調整が必要になる場合があります。

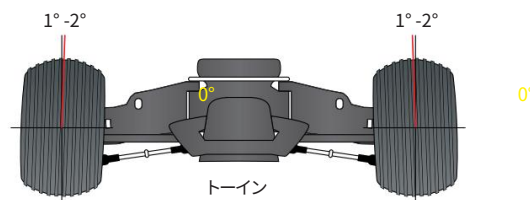
ギアメッシュの調整不適

切なギアメッシュは、平歯車の剥離の最も一般的な原因です。ギアを交換するたびに、ギアの噛み合いを確認して調整する必要があります。ギアメッシュを設定するには、ノート用紙を細く切り、ギアメッシュに差し込みます。モーターのネジを緩め、モーターとピニオンギアを平ギアにスライドさせます。モーターのネジを締め直して、紙のストリップ 0° を取り外します。新しい紙片を歯車に巻き付けずに通すことができるはずで



トインジオメトリとアラ

イメントの仕様の調整は、モデルのハンドリングに重要な役割を果たします。時間をかけて正しく設定してください。TSM をオフにします (19 ページを参照)。次に、送信機のステアリングトリムをニュートラルに設定します。次に、両方のホイールが真っ直ぐ前を向き、互いに平行になるようにサーボとタイロッドを調整します (トイン 0°)。これにより、両方向に同じ量のステアリングが保証されます。



安定性を高めるには、各前輪に $1 \sim 2$ 度のトーを追加します。ターンバックルを使用してアライメントを調整します。

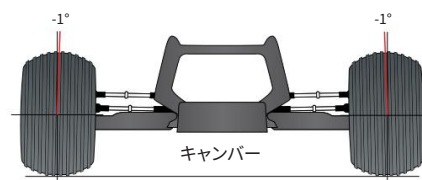
キャンパー調整

キャンパーロッド (上部ターンバックル) により、

前後輪のキャンパー角を調整できます。キャン

パーを正確に設定するには、正方形または直角

三角形を使用します。前輪をキャンパー 0° (車輪が地面に対して垂直) に調整します。リアでは、ホイールを $1 \sim 2$ 度のネガティブキャンパーに調整します。これらの調整は、トラックが通常の車高にある状態で設定する必要があります。

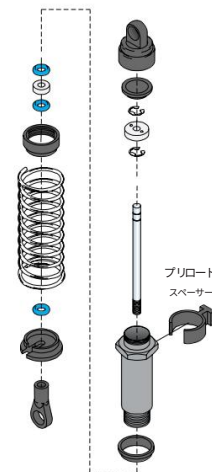


ショックの微調整モデルに

搭載された 4 つのショックはハンドリングに大きな影響を与えます。ショックを再構築する場合、またはピストン、スプリング、オイルに変更を加える場合は必ずベア (フロントまたはリア) で変更してください。

ピストンの選択は、利用可能なオイル粘度の範囲によって異なります。たとえば、軽量オイルを使用した 2 穴ピストンを使用すると、ある時点では、より重いオイルを使用した 3 穴ピストンと同じ減衰が得られます。オイル粘度が $10W \sim 50W$ の範囲の 2 穴ピストンを使用することをお勧めします (ホビーショップで入手可能)。粘度が薄いオイル ($30W$ 以下) はよりスムーズに流れ、安定性が高くなります。一方、粘度の高いオイルはより多くの減衰を提供します。ショックには工場出荷時に SAE-30Wシリコンオイルが充填されています。

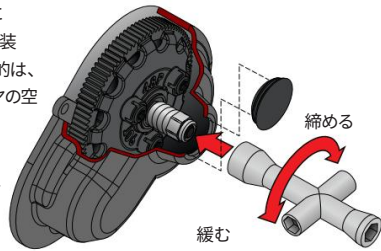
シールの寿命を延ばすために、100% 純粋なシリコン ショック オイルのみを使用してください。このモデルの車高は、クリップオンのスプリング プリロード スペーサーを追加または削除することで調整できます。サスペンションアームが地面と平行より少し上になるように車高を調整してください。モデルが順番にどのように処理するかを観察してください。適切なセットアップは安定性を高め、スピナウトを防ぐのに役立ちます。さまざまなスプリングとショックオイルを試して、現在のトラック状況に最適なものを見つけてください。



ホイールとタイヤ多

多くの種類のアフターマーケット タイヤとホイールをあなたのモデルに適合させることができます。ほとんどはモデルの全幅とサスペンション ジオメトリに影響します。モデルのホイールに設計されたオフセットと寸法は意図的なものです。したがって、Traxxas は、仕様の異なる他の非 Traxxas ホイールの使用を推奨できません。ホイールの直径は革新的なデザインで、モデルに付属のタイヤ (パーツリストに記載されている) に加えて、さまざまなタイヤを試すことができます。モデルが実行される地形でどのタイヤが最適に機能するかを確認するために、さまざまなタイプのタイヤを試してみることをお勧めします。タイヤを選択するときは、外径とゴム配合物 (ハードまたはソフト) を考慮してください。タイヤ全体の直径が大幅に増加する場合は、より大きなタイヤを補うためにより小さなピニオンギアを使用する必要があります。一般に、短いスパイクを多く備えたソフトコンパウンドタイヤは、硬くて乾燥した路面でより効果的に機能します。緩いダートでは、大きなスパイクを備えたタイヤの方がパフォーマンスが向上します。付属品のホイールとタイヤについてはパーツリストをご覧ください。

スリッパークラッチの調整大型平歯車に内蔵された調整式スリッパークラッチを装備しています。スリッパークラッチの目的は、後輪に送られる力の量を調整してタイヤの空転を防ぐことです。スリッパークラッチが滑ると「キュルキュル」という高い音が出ます。スリッパークラッチを調整するには、トランスミッションカバーにあるゴム製のスリッパークラッチプラグを取り外します。4方向レンチを使用して、調整ナットを時計回りに回して締め、反時計回りに回して緩めます。



モデルをカーペットなどの摩擦力の高い面に置きます。そのままフルスロットルでスタートしてから約2フィート滑る音が聞こえるようにスリッパークラッチを調整します。(スリッパークラッチの調整について詳しくは、サイドバーをご覧ください。)

サーボのセンタリングモデル

のステアリングサーボからサーボホーンを取り外した場合、またはサービスまたはクリーニングのためにサーボを取り外した場合は、サーボホーンを取り付ける前、またはモデルにサーボを取り付ける前に、サーボを再センタリングする必要があります。

1. ステアリングサーボからサーボホーンを取り外します。
2. ステアリングサーボを受信機のチャンネル1に接続します。電子速度制御 (ESC) をチャンネル2に接続します。サーボリードの白いワイヤは受信機のLEDに向かって配置されます。
3. 送信機の電源スイッチをオンにします。送信機の電池が消耗していないことを確認してください。
4. TSM をオフにします (19 ページを参照)。
5. 送信機のステアリングトリムノブを中央の「0」に合わせます。位置。
6. モーターワイヤー「A」と「C」を外します (14 ページを参照)。次のステップ中にモーターが回転しないようにします。新しいバッテリーパックをスピードコントロールに接続し、ESC をオンにします (17 ページを参照)。サーボの出力軸は自動的に中心位置にジャンプします。
7. サーボホーンをサーボ出力軸に取り付けます。サーボホーンはシャシの中心を向き、サーボ本体に対して垂直になるようにしてください。
8. ステアリングを戻してサーボの動作を確認します。機構が適切に中心に配置され、両方向に均等に投げられることを確認するために前に進みます。送信機のステアリングトリムノブを使用してサーボホーンの位置を微調整し、ステアリングホイールが中のときにモデルが真っ直ぐに追従するようにします。

Stampede VXL ウィリーバーのセットアップ

Traxxas のウィリーバーは Stampede VXL に標準装備されています。Rustler VXL および Bandit VXL のボルトオンアクセサリ (部品番号 3678) として入手できます。詳細については、お近くのホビー販売店にお問い合わせください。

ウィリーバーの高さ設定位置の変更は、車両に取り付けた状態で行うのが最も簡単です。位置を設定するには、上アームを下アームのクロスバーから外します。上腕を目的の位置に移動し、腕を合わせます。



位置#1: ホイールの最大角度 (クロスバーの最も低い位置)。長時間のウィリー時に車両を最も後ろに傾けることができます。



ポジション #1

位置#4: ホイールの最も低い角度 (クロスバー上の最も高い位置)。最もフラットな蹴り出しを提供し、ウィリーの可能性を減らします。



ポジション #2

注:各設定は、特定の車両の個々の車高とドループ設定に基づいて異なる結果をもたらす可能性があります。

通常の走行中は、ウィリーバーホイールに乗らないようにしてください (これは、標準車高よりも低い最低設定で発生する可能性があります)。



ポジション #3



ポジション #4

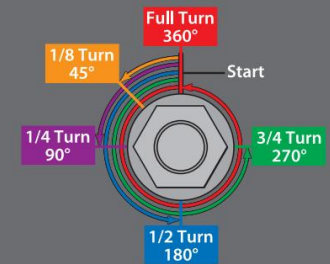
ご質問がある場合、または技術サポートが必要な場合は、Traxxas までお電話ください。

1-888 - トラクサス

(1-888-872-9927) (米国居住者のみ)



これらのモデルでスリッパークラッチの良好な開始点を達成するには、スリッパークラッチ調整スプリングが完全に潰れるまでスリッパークラッチ調整ナットを時計回りに締めてから (締めすぎないでください)、その後スリッパークラッチナットを反時計回りに1回転させます。



スリッパークラッチ調整スプリングを完全に圧縮した状態でモデルを走行させないでください。スリッパークラッチの最小推奨設定は、完全に圧縮された状態から反時計回りに1/2回転です。

モデルのメンテナンス



圧縮空気やスプレークリーナーや潤滑剤を使用するときは、必ず保護眼鏡を着用してください。



高性能車は走行中に小さな振動が発生します。これらの振動により、時間の経過とともにハードウェアが緩む可能性があります。

注意が必要です。ホイールナットやその他の金具を常にチェックし、必要に応じて締めたり交換したりしてください。



常に適切な長さのモーターボルトを使用してください。標準のモーター取り付けボルトは3x8mmです。長すぎるモーターボルトを使用すると、モーターの回転を妨げ、モーター内部を損傷する可能性があります。

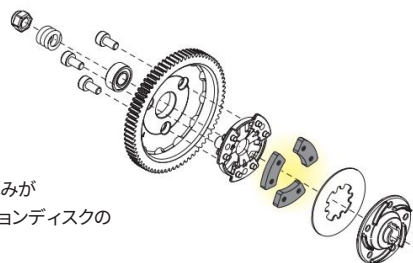
モデルを最高の稼働状態に保つには、タイムリーなメンテナンスが必要です。以下の手順は非常に真剣に受け止める必要があります。

1. 車両に明らかな損傷や摩耗がないか頻繁に検査してください。以下を探します。
 1. 部品に亀裂、曲がり、損傷があるか。
 2. ホイールとステアリングに固着がないか確認します。
 3. ショックアブソーバの動作を確認します。
 4. 配線にほつれや接続の緩みがないか確認します。
 5. 受信機とサーボの取り付け、および速度制御を確認します。
6. レンチを使用してホイールナットの締め具合を確認します。
7. 無線システムの動作、特にバッテリーの状態を確認します。
8. シャーシ構造またはサスペンションのネジに緩みがないか確認します。
9. ステアリングサーボセイバーは時間の経過とともに摩耗します。ステアリングが緩くなった場合はサーボセイバーの交換が必要です。
10. ギアの磨耗、歯の破損、ゴミの詰まりを検査します。歯の間。
11. スリッパークラッチの締め具合を確認します。

その他の定期メンテナンス: スリッパ

ークラッチパッド (摩擦材) 通常の使用では、スリッパークラッチの摩擦材は非常にゆっくりと摩耗します。

スリッパークラッチパッドの厚みが1.8mm以下の場合はフリクションディスクの交換が必要です。キャリバーを使用するか、モデルに付属の1.5 mm および2.0 mm 六角レンチの直径を基準にしてパッドの厚さを測定します。



- シャーシ: シャーシに蓄積した汚れや汚れをきれいに保ちます。シャーシに損傷がないか定期的に検査してください。

- ステアリング: 時間の経過とともに、ステアリングシステムの緩みが大きくなる場合があります。サーボセイバー、タイロッドエンド、ベルクランクブッシュ (Rustler と Bandit のみ) など、使用により摩耗するコンポーネントがいくつかあります。工場出荷時の公差を復元するには、必要に応じてこれらのコンポーネントを交換します。ベルクランクブッシュは5x8mm ボールベアリングに交換できます。交換部品番号については、モデルに付属の部品リストを参照してください。

- ショック: ショック内のオイルレベルを満タンに保ちます。シールの寿命を延ばすために、100% 純粋なシリコン ショック オイルのみを使用してください。ショックの上部付近で漏れが発生している場合は、トップキャップのブラダーに、締めすぎによる損傷や歪みの兆候がないか点検してください。ショックの底部から漏れている場合は、再構築の時期です。2つのショック用の Traxxas リビルドキットは、部品番号2362。

- サスペンション: モデルに、曲がったまたは汚れたサスペンションピン、曲がったターバンバックス、緩んだネジなどの損傷の兆候、および応力や曲がりの兆候がないか定期的に検査してください。必要に応じてコンポーネントを交換します。

- ドライブライン: ドライブヨークの摩耗、アックスルーフシャフトの汚れ、異常な異音やバインディングなどの摩耗の兆候がないかドライブラインを検査します。Uジョイントが外れてしまった場合は、部品を交換する時期です。ギアカバーを取り外し、平ギアの摩耗を検査し、ピニオンギアの止めネジの締め具合を確認します。必要に応じて、コンポーネントを締めたり、掃除したり、交換したりします。

保管一日

モデルの走行が終わったら、圧縮空気ですくって飛ばすか、柔らかい毛のペイントブラシを使用して車両のほこりを取り除きます。

モデルを保管するときは、必ずモデルからバッテリーを取り外してください。モデルを長期間保管する場合は、送信機から電池も取り外してください。



高度なチューニング調整

ギアモデ

ルのトランスミッションの最も重要な利点の1つは、利用可能なギア比の範囲が非常に広いことです。ギアを変更すると、モデルの速度を微調整したり、バッテリーパックとモーターの温度を制御したりできます。消費電流と温度を下げるには、低いギア比(数値的には大きい)を使用します。

最高速度を上げるには、より高いギア(数値的には低い)を使用します。ギアチャートに記載されていない組み合わせの全体の比率を計算するには、次の式を使用します。

$$\frac{\# \text{ 平歯車の歯}}{\# \text{ ピニオンギアの歯}} \times 2.72 = \text{ファイナルギア比}$$

より高いギア比を使用する場合は、バッテリーとモーターの温度を監視することが重要です。バッテリーが非常に高温になっている場合、またはモーターが触れられないほど高温になっている場合は、モデルがオーバーギアになっていて、過大な電流が流れている可能性があります。この温度テストは、モデルが工場出荷時の標準重量に近く、過度の摩擦、引きずり、拘束がなく自由に動作し、バッテリーが完全に充電されており、良好な状態にあることを前提としています。注:スパークギアやピニオンギアを変更した場合は、ギアの噛み合いを確認して調整してください。

Velineon 3500モーターを搭載したモデルです。各モデルに標準装備されているギアの組み合わせにより、全体的な加速と最高速度が向上します。さらに最高速度が必要な場合は、付属のオプションの大型ピニオンギア(歯数を増やす)を取り付けてください。付属の大型ピニオンギアは硬い路面での高速走行を目的としたものであり、オフロードや発進・停止を繰り返す場合にはお勧めできません。

	1	2	5	5
バンディット VXL	時速35マイル以上	時速45マイル以上	時速45マイル以上	時速70マイル以上 & Beyond
ラスター VXL	時速35マイル以上	時速45マイル以上	時速45マイル以上	時速70マイル以上 & Beyond
スタンビード VXL	時速30マイル以上	時速40マイル以上	時速40マイル以上	時速100マイル以上 & Beyond
バンディット VXL	26/76	28/76 (付属)	28/76 (付属)	33/76 (別売り) 31/76
ラスター VXL	25/83	28/83 (付属)	28/83 (付属)	31/76 (別売り)
スタンビード VXL	19/86	25/86 (付属)	25/86 (付属)	30/83 (別売り)
バッテリー	7セル NiMH 6セル NiMH	7セル ニッケル水素	2S 25C リポ 2S 25C リポ	3S 25C リポ 3S 25C リポ
公称電圧 公称電圧	8.4V 7.2V	8.4V	7.4V 7.4V	11.1V 11.1V
mAh mAh	3000mAh以上 3000mAh以上	3000mAh以上 4000mAh以上	5000mAh以上 5000mAh以上	4000mAh以上 4000mAh以上
スキルレベル スキルレベル	1	2	5	5

LiPo バッテリー

LiPo バッテリーは、LiPo バッテリーの使用に伴うリスクについて理解している最も上級のユーザーのみを対象としています。LiPo バッテリーを適切に充電、使用、保管するには、バッテリーの製造元と充電器の製造元が提供するすべての指示に従うことが重要です。LiPo バッテリーの使用方法を必ず理解してください。

詳細については、4 ページの「安全上の注意と警告」を参照してください。

温度と冷却温度を監視すると、バッテリーとモーターの寿命が延びます。温度の監視やコンポーネントの冷却に役立つオプションが多数用意されています。

温度センサー モーターの温

度を正確に監視して過熱を防ぐために、遠隔測定温度センサー(部品番号 6523)をモーターに取り付けて、運転中の温度を継続的に監視できます。一般に、モーターを 200°F 以下に保つようにしてください。必要に応じて、車体またはフロントガラスの後部を切り取って、モーターへの空気の流れを増やします。



ヒートシンク冷却ファン

VXL-3 には、オプションのヒートシンク冷却ファン(部品番号 3340)に電力を供給するための追加コネクタが装備されています。オプションのヒートシンク冷却ファンは、高電流モーターアプリケーションにおける VXL-3 の冷却に役立ちます。



ギアの互換性チャート: 以下のチャートは、モデルの電源に NiMH バッテリーパックを使用する場合の推奨ギア組み合わせ範囲を示しています。赤色の範囲では、連続定格が 70A 以上のバッテリーを使用してください。

平歯車

	76	83	86	90
12	-	-	19.50 20.40	
13	-	-	18.01 18.82	
14	-	-	16.70 17.49	
15	-	15.04 15.58 16.32		
16	-	14.12 14.63 15.31		
17	-	13.27 13.76 14.39		
18	-	12.54 13.00 13.60		
19	-	11.89 12.32 12.89		
20	-	11.28 11.69 12.24		
21	-	10.75 11.14 11.66		
22	9.38 10.25 10.63 11.12			
23	8.97	9.82 10.17 10.63		
24	8.62	9.41	9.74 10.20	
25	8.27	9.03	9.36	9.79
26	7.94	8.67	9.00	-
27	7.64	8.35	8.67	-
28	7.37	8.05	8.35	-
29	7.12	7.78	8.08	-
30	6.88	7.53	-	-
31	6.66	7.29	-	-
32	6.47	7.04	-	-
33	6.26	-	-	-
34	6.09	-	-	-
35	5.90	-	-	-

太い黒枠はストック設定を示します。

ニッケル水素電池は以下のものと併用してください。

全モデル

Bandit VXL と Rustler VXL のみ

Bandit VXL のみ

NiMH を使用しません(バッテリーは少なくとも 70A の連続定格が必要です。ホビー販売店または電池メーカーにご相談ください。)

TQiアドバンスチューニングガイド



やり直す:工場出荷

時のデフォルトに戻すTQi トラン
スミッターをプログラミングする
とき、白紙の状態からやり直す必要が
あると感じるかもしれません。次の簡
単な手順に従って、工場出荷時の設定
を復元します。

1. 送信機の電源をオフにします。
2. MENU と SET の両方を押します。
3. 送信機の電源をオンにします。
4. MENU とSETを放します。の
送信機のLEDが赤く点滅します。
5. MENU を 1 回押します。の
送信機の LED が赤色で 2 回繰り返し点滅し
ます。
6. SET を押して設定をクリアします。
LED が緑色に点灯し、送信機がデ
フォルトに戻ります。



スロットル トリム シーク モード

チファンクション ノブがスロットル トリムに
設定されている場合、送信機はスロットル トリ
ム設定を記憶します。送信機がオフの
とき、または送信機を使用して他のモデルを制
御しているときにスロットル トリム ノブを
元の設定から移動すると、送信機はトリム ノブの
実際の位置を無視します。これにより、モデルが
誤って逃げることを防ぎます。送信機の表
面にある LED が緑色に速く点滅し、スロ
ットル トリム ノブ (マルチ ファンクション
ノブ) は、メモリに保存された元の位置に戻る
までトリムを調整できません。

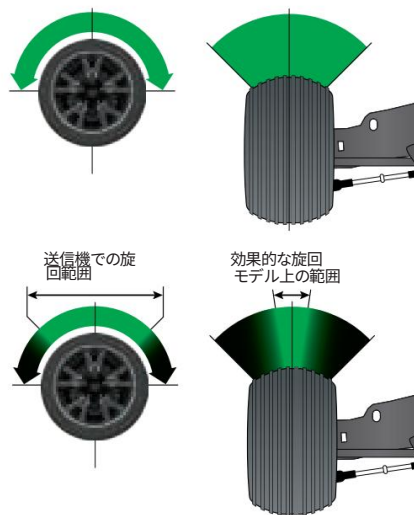
スロットル トリム コントロールを復元するには、
LED が点灯するまでマルチファンクション ノ
ブをいずれかの方向に回します。
点滅が止まります。

Traxxas 送信機にはプログラム可能なマルチファンクション ノブがあり、さま
ざまな高度な送信機機能を制御するように設定できます (デフォルトでは Traxxas
Stability Management (TSM) に設定されています。19 ページを参照)。プログラミ
ング メニューへのアクセスは、送信機のメニュー ボタンと設定ボタンを使用し、
LED からの信号を観察することによって行われます。メニュー構造の説明は 31 ペ
ージに続きます。設定と機能を試して、運転体験が向上するかどうかを確認してくださ
い。

ステアリング感度 (指数関数的)

TQi 送信機のマルチファンクション ノブを設定して、ステアリング感度 (指数関数と
も呼ばれます) を制御できます。ステアリング感度の標準設定は「標準 (ゼロ指数)」
で、ダイヤルが移動範囲内で左いっぱいにあります。この設定により、リニアなサーボ応
答が得られます。ステアリング サーボの動きは、送信機のステアリング ホイールからの
入力に正確に対応します。ノブを左から時計回りに回すと、「負の指数関数」が発生し、
サーボの応答性がニュートラル付近で低下し、サーボの移動範囲の限界に近づくにつ
れて感度が増加するため、ステアリング感度が低下します。ノブを回すほど、ステアリング
サーボの動きの変化が顕著になります。「指数関数的」という用語はこの効果
に由来しています。サーボの移動量は、ステアリング ホイールからの入力に対して指
数関数的に変化します。指数関数的な効果はパーセンテージで示され、パーセンテージ
が大きいほど効果も大きくなります。以下の図は、これがどのように機能するかを
示しています。

通常のステアリング感度 (指数関
数的 0%):この図では、ステアリン
グ サーボの移動量 (およびそれ
に伴うモデルの前輪のステア
リング動作) がステアリング
ホイールに正確に対応していま
す。範囲は説明のために誇張され
ています。



ステアリング感度の低下 (負の指
数関数):マルチファンクショ
ンノブを時計回りに回すと、モ
デルのステアリング感度が低
下します。ステアリングホイ
ールの移動量が比較的大き
いと、サーボの移動量が小さ
くなることに注意してください。
ノブを回すほど効果が顕著にな
ります。ステアリング感度の低下は、
トラクションの低い路面を走行
する場合、高速で走行する場合、ま
たは緩やかなステアリング入力が必要な急旋回を好むトラックを走行する場合に役立ち
ます。範囲は説明のために誇張されています。

スロットル感度 (スロットル指数)

マルチファンクションノブを設定してスロットル感度を制御できます。
スロットル感度はステアリング感度と同じように機能しますが、エフェクトはスロ
ットル チャンネルに適用されます。前進スロットルのみが影響を受けます。ブレー
キ/後進移動は、スロットル感度の設定に関係なく線形のままです。

ステアリングパーセンテージ (デュアルレート)

マルチファンクションノブを設定して、ステアリングに適用されるサーボトラベル量 (パ
ーセンテージ) を制御できます。マルチファンクションノブを時計回りに完全に回す
と、ステアリングのスローが最大になります。ノブを反時計回りに回すと、ステアリング
のスローが減少します (注: ダイヤルを反時計回りに停止位置まで回すと、サー
ボの移動がすべてなくなります)。ステアリング エンド ポイントの設定により、サーボ
の最大ステアリング スローが定義されることに注意してください。(マルチファ
ンクションノブを時計回りに完全に回して) ステアリングパーセントを 100% に設定す
ると、サーボは選択した終点まで移動しますが、それを超えることはありません。多くのレー
サーはデュアル レートを設定しているため、トラックの最もきついターンに必要なステ
アリング スローだけが得られ、コースの残りの部分でこのモデルを運転しやすくなりま
す。ステアリングスローを減らすことは、トラクションの高い路面でモデルをコントロー
ルしやすくしたり、大きなステアリングトラベルを必要としないオーバルレースでステ
アリング出力を制限したりするのにも役立ちます。

ブレーキ率マルチファン

クションノブは、ニトロパワーモデルのサーボによって適用されるブレーキトラベル量
を制御するように設定することもできます。電動モデルにはサーボ動作ブレーキはあり
ませんが、ブレーキ率機能は電動モデルでも同様に動作します。マルチファンクシ
ョンノブを時計回りにいっぱい回すと、ブレーキの効きが最大になります。ノブを反時計
回りに回すと、ブレーキのかかりが減少します (注:ダイヤルを反時計回りに停止するま
で回すと、ブレーキの動作がすべてなくなります)。

スロットルトリム

マルチファンクションノブをスロットルトリムとして設定すると、スロットルのニュート
ラル位置を調整して、送信機のトリガーがニュートラルにあるときに不要なブレーキの引
きずりやスロットルの適用を防ぐことができます。注:送信機には、偶発的な暴走を防ぐ
ためのスロットル トリム シーク モードが装備されています。詳細についてはサイドバー
を参照してください。

ステアリングとスロットルのエンドポイント

トQi トランスミッターを使用すると、左右の移動 (ステアリング チャネル上) とスロットル/ブレーキの移動 (スロットル チャネル上) について、サーボの移動範囲の制限 (またはその「エンド ポイント」) を個別に選択できます。。
これにより、サーボ設定を微調整して、サーボがステアリングやスロットル リンケージ (ニトロ モデルの場合) を機械的限界を超えて移動することによって引き起こされるバインディングを防ぐことができます。選択したエンドポイント調整設定は、サーボの最大移動量を表します。ステアリングパーセンテージまたはブレーキパーセンテージ機能は、エンドポイント設定をオーバーライドしません。

ステアリングとスロットルのサブトリム

サブトリム機能は、トリムノブを「ゼロ」に設定するだけではサーボが完全に中心にならない場合に、ステアリングまたはスロットルサーボの中心を正確に設定するために使用されます。サブトリムを選択すると、サーボ出力シャフトの位置をより細かく調整でき、中心を正確に設定できます。サブトリムを使用して最終調整 (必要な場合) を行う前に、必ずステアリング トリム ノブをゼロに設定してください。スロットル トリムが以前に調整されている場合は、サブトリムを使用して最終調整を行う前に、スロットル トリムを「ゼロ」に再プログラムする必要があります。

設定ロックこれ

らの設定をすべて好みに合わせて調整したら、マルチファンクション ノブを無効にして、どの設定も変更できないようにすることができます。これは、Traxxas Link™ モデル メモリを介して 1 台の送信機で複数の車両を操作する場合に特に便利です。

複数の設定とマルチファンクションノブ マルチファンクシ

ンノブで行った設定は、互いに「オーバーレイ」されることに注意することが重要です。たとえば、マルチファンクションノブをステアリングパーセンテージの調整に割り当てて 50% に設定し、その後ノブをステアリング感度の制御に再割り当てすると、送信機はステアリングパーセンテージの設定を「記憶」します。ステアリング感度に加えた調整は、以前に選択した 50% ステアリングスロー設定に適用されます。同様に、マルチファンクションノブを「無効」に設定すると、ノブはそれ以上調整できなくなりますが、マルチファンクションノブの最後の設定は引き続き適用されます。



フェールセ

ーフTraxxas 無線システムには、信号が失われた場合にスロットルを最後に保存されたニュートラル位置に戻すフェールセーフ機能が組み込まれています。送信機と受信機の LED が赤く速く点滅します。

送信機の LED コード

LEDの色/パターン	名前	ノート
	緑色に点灯	通常運転モード
	ゆっくりとした赤色 (0.5 秒オン / 0.5 秒オフ)	バインディング
	緑色に速く点滅 (0.1 秒オン / 0.15 秒オフ)	スロットルトリムシークモード
	中程度の赤で点滅 (0.25 秒オン / 0.25 秒オフ)	バッテリー低下アラーム
	赤で速く点滅 (0.125 秒オン / 0.125 秒オフ)	リンク障害/エラー
プログラミングパターン		
	数字 (緑または赤) を数えてから一時停止します	現在のメニュー位置
	x8 ファーストグリーン 8回	メニュー設定受付中 (SET時)
	x8 高速赤8回	メニューSET無効

受信機の LED コード

LEDの色/パターン	名前	ノート
	緑色に点灯	通常運転モード
	ゆっくりとした赤色 (0.5 秒オン / 0.5 秒オフ)	バインディング
	赤で速く点滅 (0.125 秒オン / 0.125 秒オフ)	フェールセーフ / 低電圧検出

TRAXXAS LINK モデル メモリ

Traxxas Link モデル メモリは、TQi トランスミッタの独占的な特許出願中の機能です。送信機が新しい受信機にバインドされるたびに、その受信機に割り当てられたすべての設定とともに、その受信機がメモリに保存されます。送信機とバインドされた受信機のスイッチがオンになると、送信機はその受信機の設定を自動的に呼び出します。モデルメモリエントリのリストから車両を手動で選択する必要はありません。

モデル ロック

Traxxas Link モデル メモリ機能は、最大 20 個のモデル (受信機) をメモリに保存できます。21 番目の受信機をバインドすると、Traxxas Link モデル メモリは「最も古い」受信機をメモリから削除します (つまり、最も長く使用していたモデルが削除されます)。

モデルロックを有効にすると、受信機がメモリ内でロックされ、削除できなくなります。

複数の TQi 送信機を同じモデルにバインドすることもできるため、コレクション内の任意の送信機と以前にバインドされたモデルを選択し、単に電源を入れて運転することができます。 Traxxas Link モデル メモリを使用すると、どの送信機がどのモデルに対応するかを覚えておく必要がなく、モデル メモリ エントリのリストからモデルを選択する必要もありません。送信機と受信機がすべてを自動的に実行します。

モデル ロックを有効にするには:

1. ロックしたい送信機と受信機のスイッチをオンにします。
2. 「メニュー」を押し続けます。ステータス LED が緑色に点滅したら手を放します。
3. MENU を 3 回押します。ステータス LED が緑色に 4 回繰り返し点滅します。
4. セットを押します。ステータス LED が 1 回の点滅間隔で緑色に点滅します。
5. SET を 1 回押します。ステータス LED が赤色で 1 回繰り返し点滅します。
6. MENU を 1 回押すと、LED が赤色で 2 回繰り返し点滅します。
7. SET を押すと、LED が緑色に速く点滅します。これでメモリがロックされました。MENU を長押しすると、運転モードに戻ります。
注: メモリのロックを解除するには、ステップ 5 で SET を 2 回押します。LED が緑色に速く点滅し、モデルがロック解除されていることを示します。全モデルのロックを解除するには、手順6でMENUを2回押してからSETを押します。

モデルを削除するには: あ

る時点で、運転しなくなったモデルをメモリから削除したい場合があります。

1. 削除したい送信機と受信機の電源を入れます。
2. 「メニュー」を押し続けます。ステータス LED が緑色に点滅したら手を放します。
3. MENU を 3 回押します。ステータス LED が緑色に 4 回繰り返し点滅します。
4. SET を 1 回押します。ステータス LED が緑色に 1 回繰り返し点滅します。
5. MENU を 1 回押します。ステータス LED が緑色に 2 回繰り返し点滅します。
6. セットを押します。これで、メモリが削除対象として選択されました。SET を押してモデルを削除します。MENU を長押しすると、運転モードに戻ります。

メニュー ツリー以下の

メニュー ツリーは、TQi 送信機のさまざまな設定と機能をナビゲートする方法を示しています。
MENU を押したままにメニュー ツリーに入り、次のコマンドを使用してメニュー内を移動し、オプションを選択します。

メニュー:メニューに入るときは、常に一番上から開始します。 MENU を押してメニュー ツリーを下に移動します。
ツリーの一番下に到達したら、もう一度 MENU を押すと一番上に戻ります。

SET: SET を押してメニュー ツリー内を移動し、選択します
オプション。オプションが送信機のメモリにコミットされると、ステータス LED が緑色に速く点滅します。

BACK: MENU と SET の両方を押して 1 レベル戻ります。
メニューツリー。

EXIT: MENU を押したままにして、プログラミングを終了します。
選択したオプションは保存されます。

ECHO: SET を押し続けると、「エコー」機能が有効になります。
場所を失った場合、Echo はメニュー ツリー上の現在の位置を「再生」します。例: 現在の位置がステアリング チャンネル エンドポイントの場合、SET を押し続けると、LED が緑色に 2 回、緑色に 1 回、次に赤色に 3 回点滅します。 Echo は調整を変更したり、プログラミング シーケンス内の位置を変更したりすることはできません。

以下は、メニュー ツリー内の機能にアクセスする方法の例です。この例では、ユーザーはマルチファンクション ノブをステアリング % (デュアル レート) コントロールに設定しています。

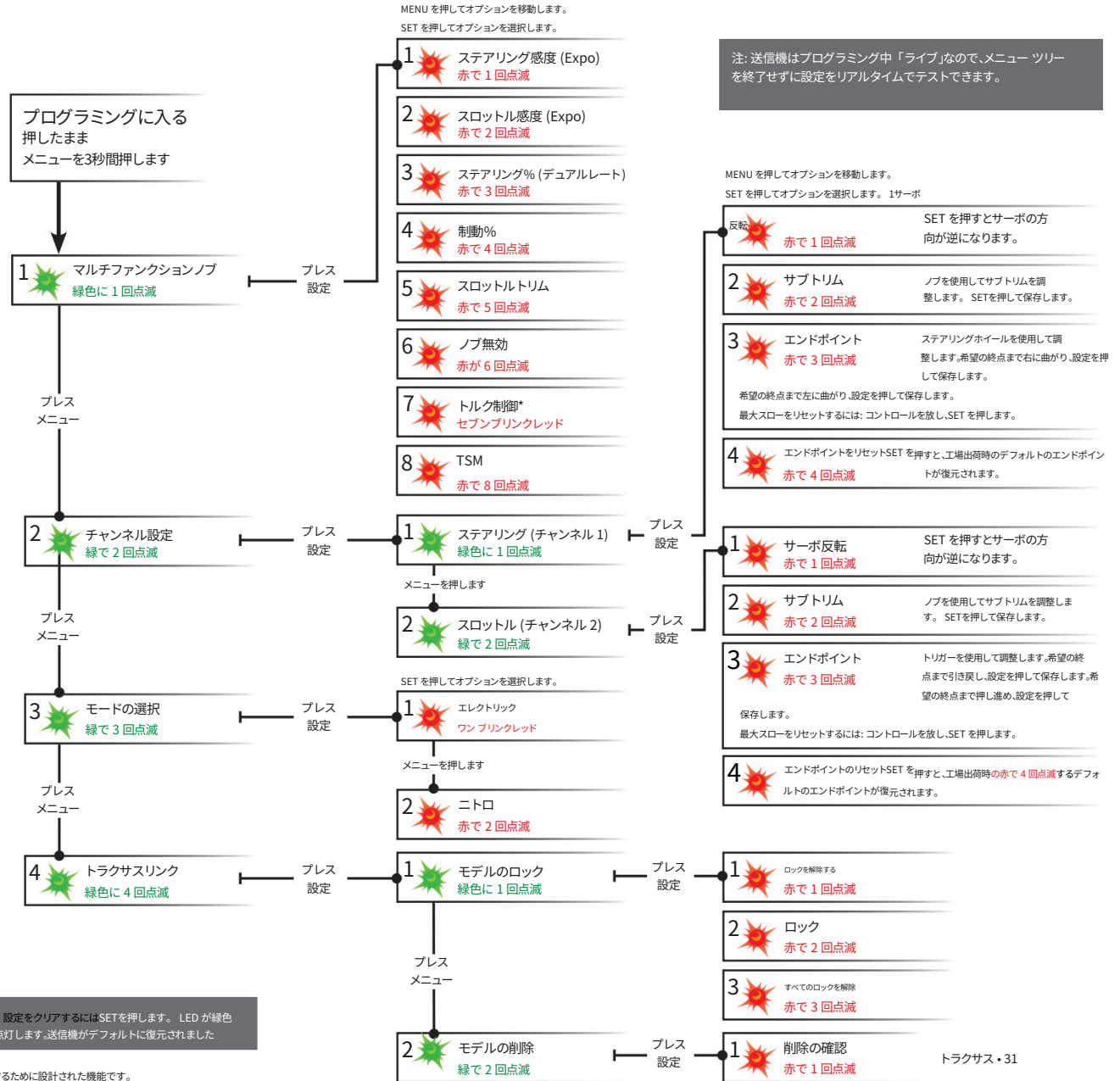
STEERING % (デュアルレート) を制御するようにマルチファンクションノブを設定するには: 1. 送信機のスイッチをオンにします。

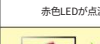
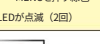
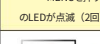
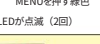
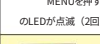
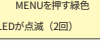
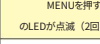
2. 緑色の LED が点灯するまで、MENU を押し続けま。一回点滅します間隔。
3. セットを押します。赤い LED が 1 回の間隔で点滅し、ステアリングを示します。感度 (Expo) が選択されています。
4. MENU を 2 回押します。赤色の LED が 3 回繰り返して点滅し、ステアリング % (デュアルレート) が選択されていることを示します。
5. SET を押して選択します。緑色の LED が 8 回速く点滅し、選択が成功したことを示します。
6. MENU を押したままにして、運転モードに戻ります。

工場出荷時のデフォルトに戻す:

送信機 オフ	両方持っている メニューとセット	送信機 の上	MENUとSETを離すと赤色LED が点滅	設定をクリアするにはSETを押します。 LED が緑色 に点灯します。送信機がデフォルトに復元されました
-----------	---------------------	-----------	--------------------------	---

*トルク コントロールは、トラックス ファニー カー レース レプリカ (モデル #6907) の電源システムでのみ使用するために設計された機能です。



マルチファンクションノブ をステアリングに設定 感度 (エキスポ)	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 SETを押す 赤色LEDが点滅	 x8 SETを押して緑色の LED が点 滅することを確認します (8 回)	 MENUを長押しすると運転 モードに戻ります	
マルチファンクションノブ をTHROTTLEに設定 感度 (エキスポ)	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 SETを押すと赤 色LEDが点滅します	 x2 MENUを押して赤色 LED の点滅 (2 回)を確認します。	 x8 SETを押して緑色の LED 点 滅 (x8)を選択します	 MENUを長押しすると運転 モードに戻ります
マルチファンクションノブ をステアリングに設定 デュアルレート (%)	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 SETを押すと赤 色LEDが点滅します	 x3 MENU を 2 回押す赤 LED 点滅 (3 回)	 x8 SETを押して緑色の LED 点 滅 (x8)を選択します	 MENUを長押しすると運転 モードに戻ります
BRAKING用マルチファン クションノブを設定 パーセンテージ (%)	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 SETを押す 赤色LEDが点滅	 x4 MENUを3回押します 赤色LED点滅 (4回)	 x8 SETを押して緑色の LED 点 滅 (x8)を選択します	 MENUを長押しすると運転 モードに戻ります
マルチファンクションノブ の設定 スロットルトリム	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 SETを押すと赤 色LEDが点滅します	 x5 MENUを4回押す赤色LEDが点 滅 (5回)	 x8 SETを押して緑色の LED 点 滅 (x8)を選択します	 MENUを長押しすると運転 モードに戻ります
ロックするには マルチファンクションノブ 長押し MENU	 緑色 LED点滅	 SETを押すと赤 色LEDが点滅します	 x6 MENUを5回押すと赤色LEDが 点滅 (6回)	 x8 SETを押すと緑色のLEDが 点滅 (8回)します。	 MENUを長押しすると運転 モードに戻ります
方向を反転する には ステアリングサーボ	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 x2 MENUを押す緑色 のLEDが点滅 (2回)	 SETを押すと 緑色のLEDが点滅します	 SETを押すと赤 色LEDが点滅します	 x8 SETを押してサーボの方向を 逆にします
ステアリングのサブトリムを 設定するには サーボ	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 x2 MENUを押す緑色 のLEDが点滅 (2回)	 SETを押すと 緑色のLEDが点滅します	 SETを押すと赤 色LEDが点滅します	 x2 MENUを押す赤 LED点滅 (2回)
ENDを設定するには のポイント ステアリングサーボ	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 x2 MENUを押す緑色 のLEDが点滅 (2回)	 SETを押すと 緑色のLEDが点滅します	 SETを押すと赤 色LEDが点滅します	 x3 MENU を 2 回押す赤 LED 点 滅 (3 回)
ENDをリセットするには ステアリングサーボを初期状 態にするポイント	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 x2 メニューを押す 緑色LED点滅 (2回)	 SETを押す 緑色LEDが点滅	 SETを押す 赤色LEDが点滅	 x4 MENUを3回押します 赤色LED点滅 (4回)
方向を反転する には スロットルサーボ	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 x2 MENUを押す緑色 のLEDが点滅 (2回)	 SETを押すと 緑色のLEDが点滅します	 x2 MENUを押す緑色 のLEDが点滅 (2回)	 x8 SETを押すと赤 色LEDが点滅します
スロットルのサブトリムを設 定するには サーボ	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 x2 MENUを押す緑色 のLEDが点滅 (2回)	 SETを押すと 緑色のLEDが点滅します	 x2 MENUを押す緑色 のLEDが点滅 (2回)	 x2 SETを押すと赤 色LEDが点滅します
ENDを設定するには のポイント スロットルサーボ	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 x2 MENUを押す緑色 のLEDが点滅 (2回)	 SETを押すと 緑色のLEDが点滅します	 x2 MENUを押す緑色 のLEDが点滅 (2回)	 x3 SETを押すと赤 色LEDが点滅します
ENDをリセットするには THROTTLEサーボの初期化の ポイント	 MENUを長押しし緑色のLED が点滅	 x2 MENUを押す緑色 のLEDが点滅 (2回)	 SETを押すと 緑色のLEDが点滅します	 x2 MENUを押す緑色 のLEDが点滅 (2回)	 x4 SETを押すと赤 色LEDが点滅します

メニューツリーの式

メニュー ツリーを参照せずに機能を選択し、TQi 送信機を調整するには、送信機の電源をオンにし、左の列で調整したい機能を見つけて、対応する手順に従うだけです。



 x8 SETを押して 位置を保存します	 MENUを長押しすると運転 モードに戻ります	
 x8 SETを押して 各位置を保存します	 ステアリングホイールを回して 設定をテストします	 エンドポイントの場合 大丈夫です： MENUを長押しすると運転 モードに戻ります
 x8 SETを押す エンドポイントをリセットするには	 MENUを長押しすると運転 モードに戻ります	
 x8 SETを押してサーボの方向を 逆にします	 MENUを長押しすると運転 モードに戻ります	
 x2 MENUを押す赤 LED点滅 (2回)	 多機能を使う ニュートラルに設定するノブ	 x8 SETを押して 位置を保存します
 x3 MENU を 2 回押す赤 LED 点滅 (3 回)	 スロットルトリム を使用し、希望の最大スロットルま たはブレーキを設定します	 エンドポイントの場合 大丈夫です： MENUを長押しすると運転 モードに戻ります
 x8 SETを押すと 緑色のLEDが点滅 (8回)	 MENUを長押しすると運転 モードに戻ります	 エンドポイントの場合 ある必要がある かわった： SET を押して 手順 6 ~ 8 を繰り返します。

TQi トランスミッターをプログラミングする

あなたの Apple iPhone,iPad,iPod Touch,または
アンドロイドモバイルデバイス

Traxxas Link™ ワイヤレス モジュール

TQi トランスミッター用 (部品番号 6511,別売り) は数
分で取り付けられ,変換されます。

Apple® iPhone®,iPad®,iPod touch®,または Android™
デバイスを強力なチューニング ツールに変換す
ると,送信機のボタン/LED プログラミング システムを直
観的で高解像度のフルカラーのグラフィカル ユーザー
インターフェイスに置き換えることができます。



トラクサスリンク

強力な Traxxas Link アプリ (Apple App Store または Google Play™ で入手可能) を使用すると、
驚くべきビジュアルと絶対的な精度で Traxxas モデルの操作と調整を完全に制御できます。 Traxxas
Link テレメトリ センサーをモデルにインストールすると,Traxxas Link は速度,RPM,温度,バッテリー電
圧などのリアルタイム データを表示します。



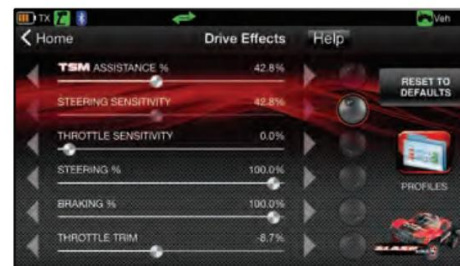
対応機種 iPhone (4S
以降) iPod touch (第5
世代以降) iPad (第3世代以降) iPad mini

Android (4.4以降)

直感的な iPhone,iPad,iPod touch,お
よび Android インターフェイスTraxxas
Link を使用すると,強力なチューニング
オプションを簡単に学習,理解し,アクセ
スできます。 TSM支援パーセンテージなどのド
ライブエフェクト設定を制御します。ステ
アリングとスロットルの感度,ステアリ
ングの割合,制動強度,画面上のスライダ
ーをタッチしてドラッグするだけで,スロ
ットル トリムを行うことができます。

リアルタイム テレメトリモデ
ルにセンサーを装備すると,Traxxas
Link ダッシュボードが起動し,速度,バッ
テリー電圧,RPM,温度が表示されます。しき
い値警告を設定し,最大値,最小値,または平均値
を記録します。録画機能を使用してダッ
シボードのビューを音声付きで記録すると、
運転に目を離さず,頂点の一つも見逃すことが
なくなります。

Traxxas Link で最大 30 のモデルを管理
TQi 無線システムは,どの車
両に接続されているかを自動的に追跡し
ます。
それぞれにどのような設定が使用され
たか,合計で最大 30 のモデルが含まれます。
Traxxas Link は,モデルに名前を付け,設
定をカスタマイズし,プロフィールを添付し、
メモリにロックするためのビジュアル インタ
ーフェイスを提供します。モデルと以前
にバインドされた送信機を選択し,電源を入
れて,楽しみ始めてください。



タップしてスライドして,TSM,ステアリング感度,スロットルトリ
ム,ブレーキパーセントなどを調整します。



カスタマイズ可能な Traxxas Link ダッシュボードは,リアルタイム
の RPM,速度,温度,電圧データを提供します。



Traxxas Link Model Memory により,車両のコレクションを簡単に
整理できます。



トラクサス リンク
ワイヤレスモジュールは別売り

です(部品番号6511)。
Traxxas Link アプリ

ケーションは,iPhone,iPad、
または iPod touch の場合は
Apple App Store から、
Android デバイスの場合
は Google Play から入手できま
す。 iPhone,iPad,iPod touch,ま
たは Android デバイスは,Traxxas
Link ワイヤレス モジュールには
含まれていません。

Traxxas Link ワイヤレス モ
ジュールおよび Traxxas Link
アプリケーションの詳細について
は,Traxxas.com を参照してくだ
さい。

Download Now!



TRAXXAS
LINK

Download on the
App Store

GET IT ON
Google Play



RUSTLER
STAMPEDE
BANDIT
VXL
BRUSHLESS

TRAXXAS

6250 Traxxas Way、マッキーニー、TX 75070
1-888-トラクサス